



取扱説明書
HUSQVARNA AUTOMOWER®
540/560/580/580L EPOS®



JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性	5.7 本製品をオフにする.....30
1.1 安全性の定義.....3	5.8 バッテリーの充電.....30
1.2 一般的な安全注意事項.....3	6 メンテナンス
1.3 設置の安全注意事項.....4	6.1 はじめに - メンテナンス.....31
1.4 操作のための安全注意事項.....4	6.2 メンテナンスのスケジュール.....31
1.5 メンテナンスのための安全注意事項.....5	6.3 製品の清掃.....32
1.6 バッテリーの安全.....5	6.4 ブレードの交換.....34
1.7 本製品の持ち上げと移動.....5	6.5 ホイールブラシの交換.....35
1.8 サイバーセキュリティ.....5	6.6 バッテリー.....35
2 はじめに	6.7 冬期の保守.....36
2.1 サポート.....7	7 トラブルシューティング
2.2 製品の説明.....7	7.1 はじめに - トラブルシューティング.....37
2.3 システムの説明.....7	8 搬送、保管、廃棄
2.4 システムの概要.....8	8.1 搬送.....48
2.5 製品の概要.....9	8.2 本製品の保管方法.....48
2.6 コントロールパネルの概要.....10	8.3 チャージステーションを保管する.....48
2.7 本製品の LED ステータスバー.....10	8.4 廃棄.....49
2.8 ボタンの LED インジケータ.....11	9 主要諸元
2.9 製品に表記されるシンボルマーク.....11	9.1 主要諸元.....50
2.10 バッテリーのマーク.....12	9.2 登録商標.....53
2.11 製品の損傷.....12	10 日本市場に適用可能
3 Installation（設置）	10.1 コンプライアンス要件.....54
3.1 はじめに - 設置.....13	
3.2 設置用の主要部品.....13	
3.3 設置準備.....13	
3.4 本製品の設置.....17	
4 設定	
4.1 エリア.....26	
4.2 構成.....27	
4.3 Bluetooth® メニュー.....27	
4.4 エラーログ.....27	
4.5 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA).....28	
5 動作	
5.1 本製品をオンにする.....29	
5.2 スケジュールに従って作業を行う.....29	
5.3 選択した作業エリアで芝刈りを行う、または スケジュールを上書きする.....29	
5.4 駐車.....29	
5.5 メンテナンスポイントに駐車.....29	
5.6 本製品の停止方法.....30	

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の玩具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 本製品の損傷および車両や人身事故を防ぐため、公共の道路や通路を横断するような作業エリアや輸送経路を設置しないでください。
- 本製品は玩具ではありません。本製品のブレードは、人や動物を負傷させるおそれがあります。
- 作動中は、8 歳未満のお子様を作業エリアに立ち入らせないでください。作動中は、お子様および動物を常に監視する必要があります。
- 本製品の作動中は、人と本製品との距離を 3 m (10 フィート) 以上空ける必要があります。本製品の作動中は、作業エリアで睡眠を取ったり日光浴をしたりしないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機! 機械に近づかないでください! お子様を近づけないでください!
- appDrive を使用して本製品を手動操作しているときに、走らないでください。常に自分が安全で安定した位置にいることを確認してください。急斜面での作動時は、本製品の近くに人がいないことを確認してください。appDrive を使用して本製品を操作しているときは、必ず丈夫な靴と長ズボンを着用してください。
- 本製品をオフにするには、本製品の後方で STOP ボタンを押します。アプリを使用して本製品を一時停止することができます（該当する製品の場合）。本製品をオフにした後、3 秒以上待ってから本製品を移動してください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、「廃棄 49 ページ」を参照してください。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水/中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。

- ・ 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照： **Installation（設置）13** ページ。
- ・ 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照： **動作 29** ページ。
- ・ 雷雨の危険性がある場合は、ハスクバーナでは、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- ・ 保守手順に従い、必要に応じて **Husqvarna** 純正のスペアパーツを使用します。「メンテナンス **31** ページ」を参照してください。
- ・ 質量、寸法、騒音排出値などの主要諸元については、「**主要諸元 50** ページ」を参照してください。
- ・ 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- ・ 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- ・ 本製品の設計に変更を加えてはいけません。
- ・ 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- ・ **Husqvarna** は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- ・ 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- ・ 動作時、充電時、および保管時の温度は **0~45 °C/32~113 °F** です。1 か月を超える長期保管時は、温度が **0~25 °C/32~77 °F** でなければなりません。

1.3 設置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- ・ 人がつまずくおそれがあるエリアには、チャージステーションを設置しないでください。
- ・ チャージステーションおよびアクセサリーは、可燃物から **60 cm（24 インチ）** 以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- ・ 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- ・ 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- ・ 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。
- ・ 米国/カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合：感電のおそれがあります。必ずアタッチメ

ントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス **A GFCI** レセプタクル (RCD) に取り付けてください。

- ・ 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- ・ 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- ・ 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。「**本製品をオフにする 30** ページ」を参照してください。**Husqvarna** は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。「**スケジュールに従って作業を行う 29** ページ」を参照してください。
- ・ 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- ・ 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- ・ 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。「**本製品の停止方法 30** ページ」を参照してください。
- ・ 本製品、チャージステーション、またはリファレンスステーションの上に物を置かないでください。
- ・ **[STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- ・ 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい **PIN** コードを入力した場合のみ本製品を起動できます。
- ・ チャージステーションが電源コンセントに接続されているときは、チャージステーションのチャージプレートに触れないでください。
- ・ ポップアップスプリンクラーと同時に本製品を使用しないでください。スケジュール機能を使用して、本製品とポップアップスプリンクラーが同時に動作しないようにしてください。「**スケジュールに従って作業を行う 29** ページ」を参照してください。
- ・ ポップアップスプリンクラーが設置されている場所に輸送経路を設けないでください。
- ・ 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動かさずしないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電氣的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。
- 損傷したバッテリーは使用しないでください。バッテリーが損傷している場合は破棄します。「廃棄 49 ページ」を参照してください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

本製品を作業エリアに安全に出入りさせるには、本製品を持ち上げたり、appDrive を使用して操作したりできます。

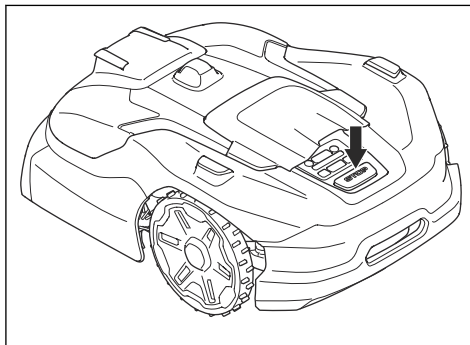


警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。

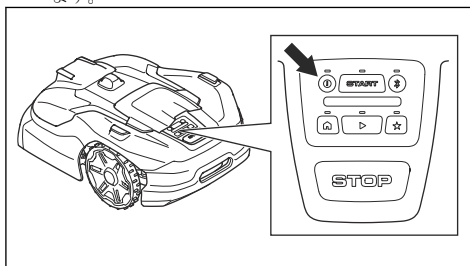


注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品が損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。



3. 本製品を持ち運ぶ際は、ハンドルを持ち、ブレードディスクを身体に近づけないでください。



1.8 サイバーセキュリティ

セキュリティの推奨事項：

- 信頼性のないネットワークやパブリックネットワーク上で、本製品のセットアップや操作をしないでください。
- システムのセキュリティを維持するために、利用できるファームウェアのアップデートがないかを定期的に確認してください。

1.8.1 Bluetooth® インターフェイス

Bluetooth® インターフェイスはデフォルトで有効になっており、セットアップやモバイルデバイスへの接続、

ローカルデバイスの制御、本製品とモバイルデバイスの構成に対応します。Bluetooth® 接続では、アプリを介して、製品ごとに異なる PIN コードまたはパスワードを使用します。すべてのデバイス接続は、標準的な BLE 暗号化によって保護されます。セキュリティを強化するために、強力な一意の PIN を使用してください。

1.8.2 セルラーインターフェイス

セルラーインターフェイスは、コンパニオンアプリ経由によりリモートアクセスを可能にし、ファームウェアのアップデートに対応して、位置情報サービスを提供します。本製品は、業界標準のプロトコルを使用して、携帯電話通信による接続の安全性を確保します。

1.8.3 位置情報サービス

位置情報サービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。これは、ジオフェンス機能（盗難防止機能）を有効にして、コンパニオンアプリで本製品の位置を表示するサービスです。

1.8.4 外部サービス

ネットワークインターフェイスで以下のサービスを利用できます。

- バックエンドサービス: テレメトリデータ交換に加え、アプリまたは Web ベースのポータルによるアクセス認証によって本製品の安全な管理と構成を実現します。
- ファームウェアのアップデートサービス: このサービスは、無線通信経由で新しいファームウェアを本製品に送信します (FOTA)。これらのアップデートにより、本製品のセキュリティおよび製品機能が最新の状態に維持されます。
- 位置情報サービス: このサービスは、GPS を使用して本製品の位置を表示します。利用するには、アプリでこのサービスを有効にする必要があります。

2 はじめに

製造番号：

製品番号

PIN コード：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

2.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。「サポート 7 ページ」を参照してください。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。本製品は、バッテリーの充電残量が低下するか、作業エリアの芝刈りが終了するまで動作し、チャージステーションに移動します。本製品の動作は、不規則または規則的なパターンに設定できます。仮想境界は、本製品が稼働可能な作業エリアを指定します。仮想境界に近づく、本製品の衛星受信機がそれを検知します。本製品が障害物に衝突したり、仮想境界に接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。

2.3 システムの説明

EPOS® を使用して仮想境界を設置する場合、本製品は、衛星と修正データを使用して移動します。修正データは、Husqvarna® Cloud またはリファレンスステーションを介して受信します。リファレンスステーションは、Husqvarna® Cloud に接続できない場合に使用できるオプションのアクセサリです。

リファレンスステーションには 2 つの種類があります。リファレンスステーション EPOS® RS 4G は、携帯電話通信を利用して本製品に信号を送信します。本製品とリ

ファレンスステーション EPOS® RS 4G 間の最大許容距離は 25 km (16 マイル) です。リファレンスステーション EPOS® RS5 は無線通信を利用して本製品に信号を送信します。本製品とリファレンスステーション EPOS® RS5 間の最大許容距離は 500 m (1640 フィート) です。リファレンスステーション EPOS® RS5 はリピータとして使用できます。EPOS® RS5 は別のリファレンスステーション EPOS® RS5 に接続可能です。接続すると、通信範囲を拡大できます。

注記： 一部の国や地域は、リファレンスステーションまたは Husqvarna® Cloud による修正データに対応していません。詳細については、最寄りの地域の Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

設置する際は、アプリの appDrive で本製品を操作します。通過点が追加されて、アプリ内の地図が作成されます。作業エリアとは、本製品が作動し、芝を刈るエリアです。本製品が入れない進入制限ゾーンを作成することもできます。チャージステーション前部にはドッキングポイントがあります。これは、本製品がチャージステーションとの間を移動するために使用されます。ドッキングポイントと作業エリアの間を移動するには、輸送経路が必要です。輸送経路を移動する際に、本製品は芝を刈りません。システムの概要 8 ページを参照してください。

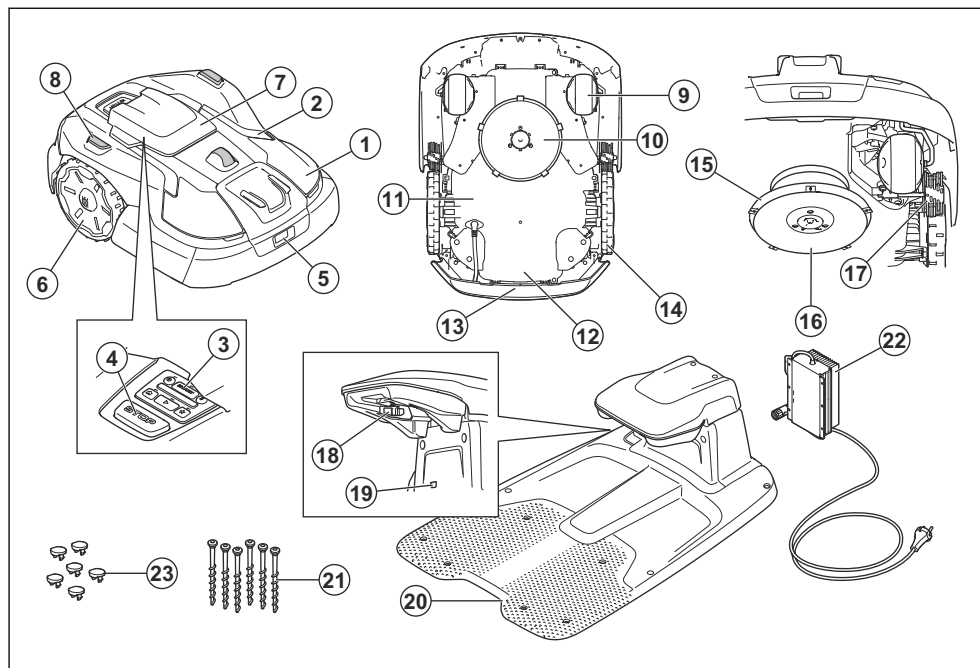
2.3.1 接続性

Husqvarna Fleet Services™ は、プロ向けロボット芝刈機の設置、操作、監視のためのデジタルツールです。Web サイト www.husqvarna.com とモバイルアプリの両方で利用可能で、Bluetooth® テクノロジーとリモート制御に対応しています。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 衛星 | 8. 進入制限ゾーン |
| 2. 衛星信号 | 9. 作業面積 |
| 3. Husqvarna® Cloud | 10. モバイルデバイス |
| 4. リファレンスステーション ¹ | 11. ドッキングポイント |
| 5. 修正データ | 12. 輸送経路 |
| 6. チャージステーション | 13. ロボット芝刈機 |
| 7. 仮想境界 | |

¹ オプションのアクセサリー（別売）。

2.5 製品の概要

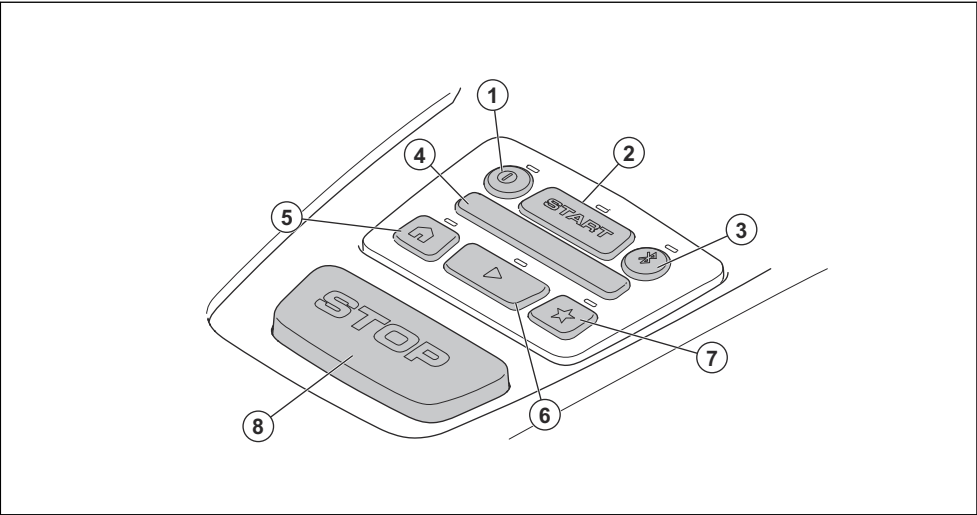


- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 本体 | 13. ハンドル |
| 2. 警告灯 | 14. ホイールクリーナー ² |
| 3. START ボタン | 15. ブレードディスク |
| 4. STOP ボタン | 16. スキッドプレート |
| 5. レーダーセンサー | 17. アクティブホイールブラシ ³ |
| 6. リヤホイール | 18. 接触板 |
| 7. キーパッドカバー | 19. チャージステーションの LED インジケータランプ |
| 8. サービス位置のサポート | 20. チャージステーション |
| 9. フロントホイール | 21. チャージステーション取り付けネジ |
| 10. カッティングシステム | 22. 電源装置 |
| 11. 電子部品、バッテリー、モーターが搭載されたシャ
ーボックス | 23. チャージステーションの穴用プラグ |
| 12. 銘板 (製品識別コードを含む) | |

² 一部のモデルにのみ含まれています。

³ 一部のモデルにのみ含まれています。

2.6 コントロールパネルの概要



- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ON/OFF ボタン | 6. 実行ボタン |
| 2. START ボタン | 7. メンテナンスポイントボタン |
| 3. Bluetooth® ボタン | 8. STOP ボタン |
| 4. LED ステータスバー | |
| 5. 駐車ボタン | |

2.7 本製品の LED ステータスバー

本製品のコントロールパネルにある LED ステータスバーには、現在の製品状況が表示されます。

LED ステータスバー	製品状態
緑色の点灯	本製品が芝刈りをしているか、チャージステーションから移動しています。
緑色のライトが順番に点灯	本製品が稼働開始の準備をしています。
緑色ライトの点滅	本製品が <i>[Pause (一時停止)]</i> モードになっています。
赤色ライトの点滅	エラーにより本製品が停止しました。
オレンジ色の点灯	STOP ボタンが押されました。
オレンジ色の装飾点灯	本製品が停止し、15 分後に一時停止に設定されます。
オレンジ色ライトの点滅	PIN コードの待機中
青色の点灯	本製品がチャージステーションまたはメンテナンスポイントに移動します。
青色ライトのパルス点灯	本製品がチャージステーションで充電しています。

LED ステータスバー	製品状態
赤色ライトの点滅	本製品がチャージステーションまたはメンテナンスポイントに駐車しています。
青色の装飾点灯	本製品はチャージステーションに戻る準備をしています。
白色の点灯	本製品が appDrive モードになっています。
白色の装飾点灯	本製品が OFF になっています。
	ファームウェアをインストール中です。
白色ライトの点滅	新しいファームウェアをインストールする必要があります。

2.8 ボタンの LED インジケータ

コントロールパネルのボタンの LED インジケータは、現在のボタンの選択ステータスが表示されます。

LED インジケータ ライト	ボタンの選択ステータス
ライト消灯	このボタンを押すことはできません。
白色に点灯	このボタンは押すことができます。
白色に点滅	このボタンは押すことができます。また、このボタンを押すことをお勧めします。
青色に点滅	Bluetooth®ボタンのみ。Bluetooth® が有効になると、モバイルデバイスを接続できます。
青色に点灯	Bluetooth®ボタンのみ。モバイルデバイスは Bluetooth® で本製品に接続されています。
オレンジ色に点灯	Bluetooth®ボタンのみ。本製品は最大数のモバイルデバイスに接続しています。

2.9 製品に表記されるシンボルマーク

これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。内容をご確認ください。



警告：本製品を操作する前に取扱説明書をお読みください。



警告：メンテナンスの前、または本製品を持ち上げる前に、本製品の電源をオフにしてください。



警告：操作中は、本製品から安全な距離を保ってください。本製品の回転しているブレードに手や足を近づけないでください。



警告：本製品の上に座らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



警告：高温の表面には触れないでください。



本製品は EU 指令適合製品です。



本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。国の規制に従い、地域のリサイクルシステムを使用してください。



シャーンには、静電放電 (ESD) に弱い部品が含まれています。シャーンは、必ず認定されたサービス技術者のみが開閉および密閉してください。シールが破損している場合、保証は適用されません。

2.10 バッテリーのマーク



警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。



取扱説明書をお読みください。



バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。



バッテリーは水の中に入れてください。

2.11 製品の損傷

以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリー、またはメーカーの認可していないアクセサリーを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

3 Installation (設置)

3.1 はじめに - 設置



警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には以下の部品が必要です。

- 自動で芝刈りを行うロボット芝刈機。
- 本製品を充電するチャージステーション。
- チャージステーションおよび 100 V ~ 240 V 電源コンセントに接続した電源。
- リファレンスステーション⁴：衛星信号を受信し、ロボット芝刈機に補正データを送信する。
- 本製品の設置および設定を行うための Husqvarna Fleet Services™ アプリを搭載したモバイルデバイス。

3.3 設置準備



注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。



注意： 設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。こうすることで、チャージステーション、リファレンスステーション、仮想境界の設置位置の検討が容易になります。
- 青写真に、チャージステーション、リファレンスステーション、メンテナンスポイント、輸送経路、作業エリアと進入制限ゾーンの仮想境界を設置する場所をマークします。
- Husqvarna® Cloud 経由で EPOS® を使用して設置を行う場合は、本製品が作業エリア全体で修正データを受信できることを確認してください。
- リファレンスステーションを使用して設置する場合は、作業エリアのすべての場所で、本製品がリフ

ァレンスステーションからの無線信号を受信できることを確認します。

注記： リファレンスステーションと本製品の間

- 本製品が動作する作業エリアの上空に視野を遮るものがないことを確認します。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。
- 本製品を設置する前に、芝を刈ってください。このとき、芝は 5 cm / 2 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

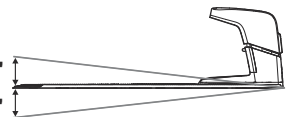
3.3.1 リファレンスステーションの設置場所について

リファレンスステーションの設置場所に関する指示を読み、理解してください。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。

3.3.2 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションは、コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- 表面が最低 1 m/3.3 フィートであることを確認します。チャージステーションの前が水平になっています。
- チャージステーションのベースプレートが水平になっている、または曲がっていないかを確認します。

max. 5 cm / 2"



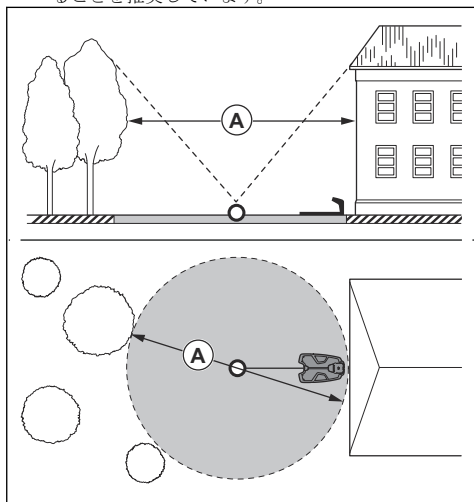
⁴ オプションのアクセサリ (別売)。

- チャージステーションは作業エリア内と作業エリア外のいずれにも置くことができます。
- 周囲温度が 30°C / 86 °F を超える可能性のある場所では、日光から保護されている場所にチャージステーションを設置します。
- 2つのチャージステーションを互いに近くに設置する場合、チャージステーション間の最小距離は 3 m/9.8 フィートである必要があります。
- 地中に金属製の物体が埋まっている場所にチャージステーションを設置します。



注意： 金属製の物体がチャージステーションの信号と干渉する可能性があります。

- Husqvarna では、チャージステーションの前に、6 m/19.6 フィート (A) 以上の空きスペースを確保することを推奨しています。



- 上空を遮るものがない場所にドッキングポイントを設定し、衛星受信が可能であることを確認します。このエリアで衛星受信ができない場合は、ワイヤーによるドッキングの設置方法をオプションで使用できます。「チャージステーションをワイヤーによるドッキングで設置する方法 18 ページ」を参照してください。
- アプリで、ドッキングポイントまでの距離を 130～220 cm (51～87 インチ) に設定します。
- ドッキングポイントが作業エリアにない場合は、作業エリアまでの輸送経路を設置します。

3.3.3 電源装置の取り付け場所について



注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。

- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリとして用意されています。

3.3.4 地図上のどこに物体を設置するかを検討する



注意： 作業エリアが水域、斜面、崖、または公道に面している場合は、仮想境界に保護壁を設置する必要があります。この保護壁の高さは、15 cm / 6 インチ以上にする必要があります。



注意： 本製品は、砂利の上では使用しないでください。



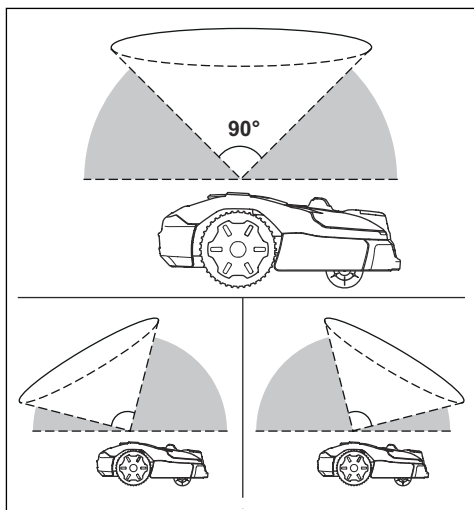
注意： 動作時に異音が発生しないようにするには、樹木や根、石などの障害物をすべて取り除いておいてください。

- Husqvarna は、チャージステーションから最も離れた設置場所までを最大距離とすることをお勧めします。最大距離は、Automower™ 560/580/580L EPOS® の場合は 500 m/1640 フィート、Automower™ 540 EPOS® の場合は 300 m/980 フィートです。

注記： 斜面や芝が長く伸びた場所があると、最大距離は短くなります。

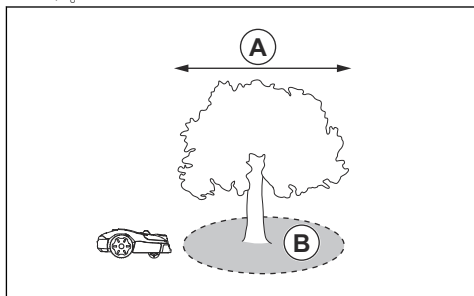
3.3.5 建物や木の近くに地図オブジェクトを設置するには

- 上空の 90° の部分に遮るものがないことを確認します。



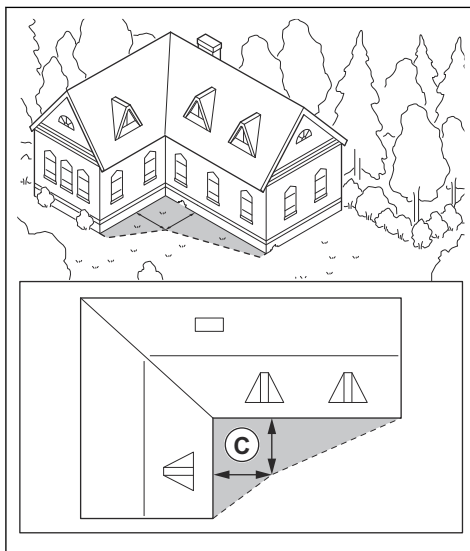
注記： 上空が遮られていると、本製品は、移動に必要な衛星信号を受信できません。

- 直径 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々の周りには、進入制限ゾーン (B) を設けてください。

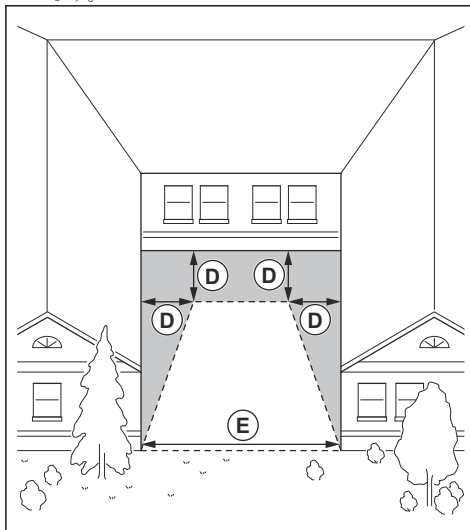


注記： 直径 (A) が 4 m/13 フィートを超える樹冠がある木や木々により、本製品が一時停止する可能性があります。通常、木が小さければ本製品の動作に干渉することはありません。

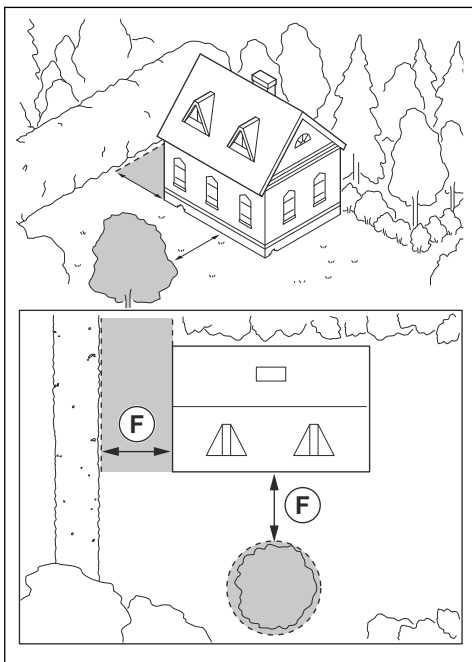
- L 字型の建物がある場合は、建物から 1.5 m/5 フィート以上の位置に仮想境界を設置します。



- U 字型の建物があるエリアに仮想境界を設置するには、距離 (E) が 6 m/20 フィート以上あることを確認します。建物が 3 m/10 フィートよりも高い場合は、距離 (E) が最も高い建物の高さの 2 倍であることを確認します。建物から 1.5 m/5 フィート以上離れた距離 (D) の位置に仮想境界を設置します。

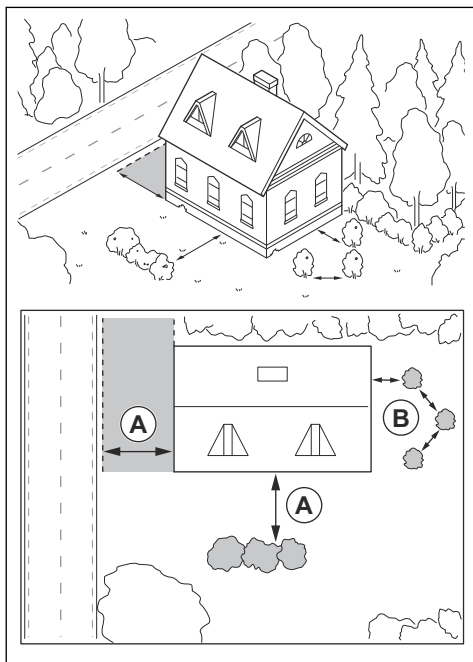


- 物体間のエリアの距離 (F) が 4 メートル/13.1 フィート以上であることを確認します。



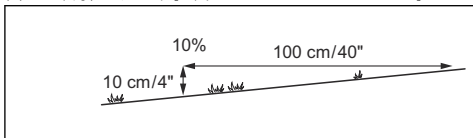
3.3.6 地図上の狭い通路のどこに物体を設置するかを検討する

- 1 m/3.3 フィート未満の物体間の通路の最小幅が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。
- 1 m/3.3 フィート未満の物体と 1 m/3.3 フィートを超える物体の間の最小幅 (A) が、2 m/6.6 フィートであることを確認します。
- 1 m/3.3 フィート未満の物体 (B) 間の最小距離が、1 m/3.3 フィートであることを確認します。



3.3.7 斜面での地図オブジェクトの設置

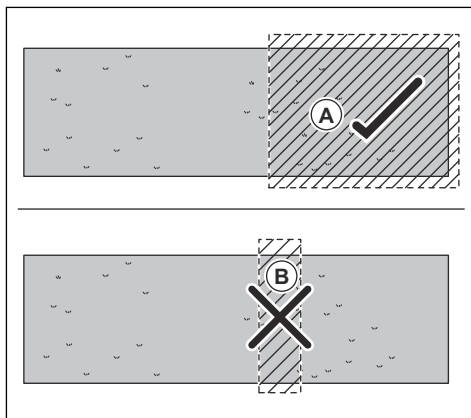
Automower® 540/560 EPOS® は、作業エリアの 50% 斜面でも動作します。Automower® 580/580L EPOS® は、作業エリアの 45% 斜面でも動作します。仮想境界の最大斜度は 20% です。勾配 (%) は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 作業エリア内の勾配が 45-50% を超える斜面は、周囲に進入制限ゾーンを設置して隔離してください。
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁にフェンスまたは保護壁を設置してください。
- Husqvarna は、芝の損耗を防ぐために斜面を直登するよう、体系化された方向パターンを設定することをお勧めします。

3.3.8 進入制限ゾーンの設置場所について

- 物体の周囲に 2 x 2 m/6.6 x 6.6 フィートを上回る進入制限ゾーンを設けてください。
- 進入制限ゾーンが 30 x 30 cm/1 x 1 フィート以上であることを確認してください。
- 進入制限ゾーンには、本製品が進入してはならない完了エリア (A) があることを確認してください。



注記： 本製品が作業エリアの一部に入らないようにするには、作業エリアを横断するような進入制限ゾーン (B) を設けないでください。

3.4 本製品の設置

3.4.1 設置ツール

- ソケットレンチ、10 mm。
- 8 mm 六角レンチ (カートンに同梱)。

3.4.2 チャージステーションの設置

チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 13 ページ」を参照してください。



警告： 取り付けに関する安全注意事項を読み、理解してください。「チャージステーションの設置場所について 13 ページ」を参照してください。



注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。



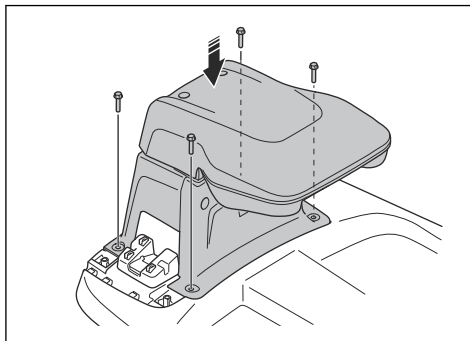
注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

3.4.2.1 チャージステーションを設置する方法

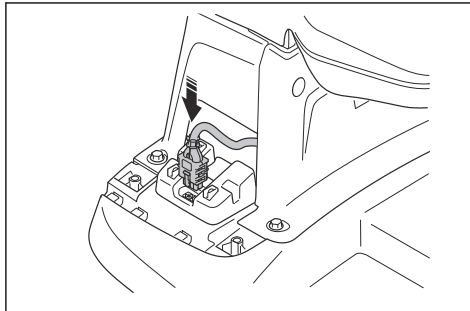
1. 選択した場所にチャージステーションベースプレートを置きます。
2. ベースプレートの穴に 6 本のネジを取り付けて、ベースプレートを地面に取り付けます。ベースプレートの残りの穴に 6 個のプラグを取り付けます。

注記： ベースプレートには 12 個の穴があります。ネジ穴を 6 つ使用して、ベースプレートを地面に取り付けます。他の 6 つの穴を使用してプラグを取り付けます。

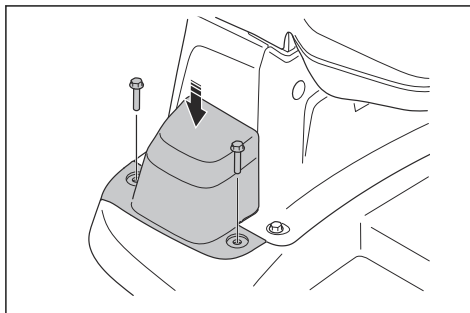
3. 10 mm ソケットレンチを使用して、チャージステーションの上部を 4 本のネジで取り付けます。



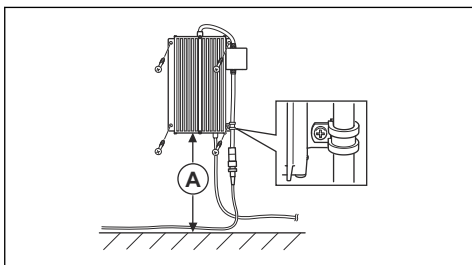
4. チャージステーション上部のケーブルをチャージステーションベースプレートに接続します。



5. 2 本のネジでケーブルカバーを取り付けます。



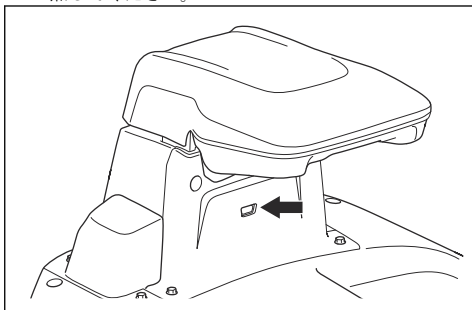
6. 電源は 30 cm (12 インチ) 以上の高さ (A) にします。電源ケーブルをクリップで取り付けます。



7. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
8. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。
9. ケーブルをベグで地面に固定するか、または地中に埋めます。
10. 本製品をチャージステーションに置いて、本製品を充電します。バッテリーの充電 30 ページを参照してください。

3.4.2.2 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。LED インジケータの詳細については、「チャージステーションの LED インジケータランプ 45 ページ」を参照してください。

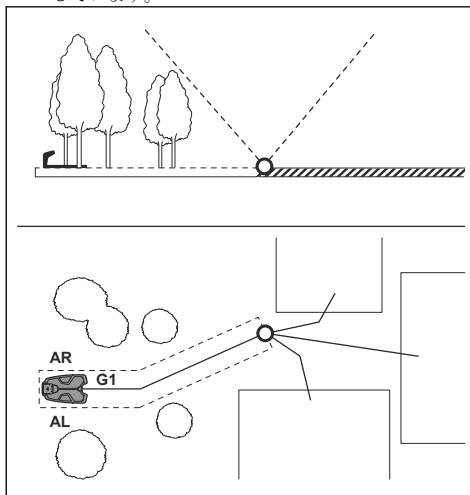


2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。チャージステーションを設置する方法 17 ページおよびチャージステーションの LED インジケータランプ 45 ページを参照してください。

3.4.3 チャージステーションをワイヤーによるドッキングで設置する方法

ワイヤーによるドッキングは、オプションのチャージステーション設置方法です。この方法では、チャージステーションからドッキングポイントにワイヤーを取り付けます。衛星受信が十分でない場所にチャージステーションを設置する必要がある場合にこの方法を使用します。ドッキングポイントは、ガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている場所に自動的に設定されます。

- 本製品がチャージステーションからドッキングポイントに移動する経路の周囲に境界ワイヤーを取り付けます。
- ガイドワイヤーを接続する場所に境界ワイヤーでアイレットを設置します。境界ワイヤーの約 20 cm/8 インチにアイレットを設置します。
- ガイドワイヤーを経路の中央に設置して、本製品を追従させ、境界ワイヤーに接続します。
- 上空視野を遮るものがない場所にドッキングポイントを確認してください。
- 経路の幅が十分であることを確認します。
Husqvarna では、経路の幅は 2～5 m/6.6～16.4 フィートにすることをお勧めしています。経路の最小幅は 1 m/3.3 フィートです。経路がチャージステーションの近くにある場合は、通路の幅が 2 m/6.7 フィートであることを確認します。
- チャージステーションの前から 3 m/9.8 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- Husqvarna では、設置時のガイドワイヤーの長さは 10～100 m/32～328 フィートであることをお勧めしています。

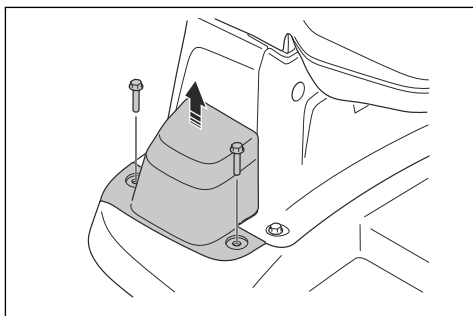


3.4.3.1 境界ワイヤーを取り付ける方法

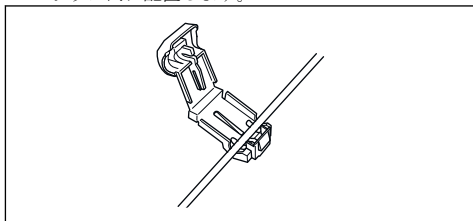


注意： 余ったワイヤーをコイル内にしないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

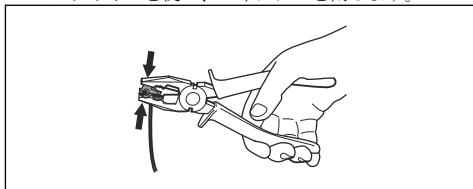
1. チャージステーションとドッキングポイントの位置の間の経路の周囲に境界ワイヤーを配置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。「ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 20 ページ」および「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 20 ページ」を参照してください。
2. ケーブルカバーを取り外します。



3. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



4. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



5. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
6. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
7. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。

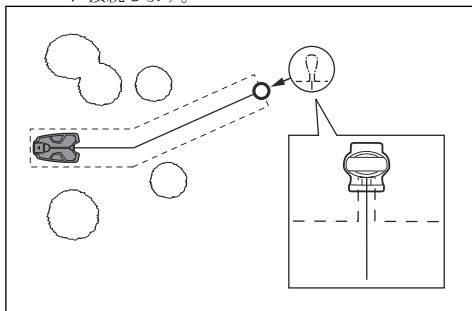
3.4.3.2 ガイドワイヤーを取り付ける方法



注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。

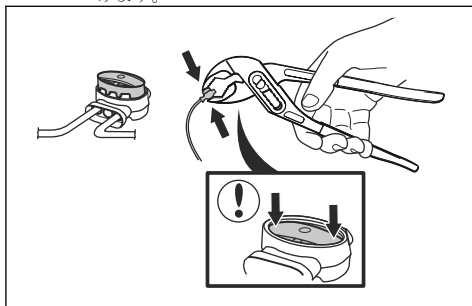
4. コネクターを、チャージステーションの「G1」というマークの付いた金属ピンに接続します。
5. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
6. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
7. ワイヤーカッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
8. カブラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



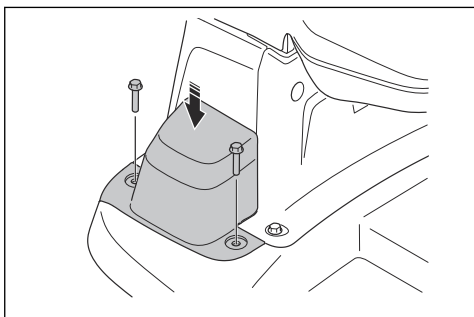
- a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカブラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの両端がカブラーの透明部分を通っていることを確認してください。

- b) アジャスタブルプライヤーでカブラーのカバーを押し下げてカブラーにワイヤーを取り付けます。



9. ガイドワイヤーをベグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。「ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する 20 ページ」または「ワイヤーまたはケーブルを埋設する 20 ページ」を参照してください。
10. 2 本のネジでケーブルカバーを取り付けます。



11. チャージステーションを電源に接続します。

3.4.3.3 ベグを使ってワイヤーまたはケーブルを所定の位置に固定する



注意： ベグがワイヤーまたはケーブルを保持して地面に固定されていることを確認します。



注意： 設置直後に芝生を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーまたはケーブルの絶縁を損傷するおそれがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数か月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. ワイヤーまたはケーブルを地面に配置します。
2. ベグを、30 cm / 12 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ベグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーまたはケーブルは芝で覆われて見えなくなります。

3.4.3.4 ワイヤーまたはケーブルを埋設する

- エッジカッターまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 1-20 cm/0.4-8 インチの深さでワイヤーまたはケーブルを埋設します。

3.4.4 リファレンスステーションの設置

リファレンスステーションの取扱説明書に記載されている指示に従って、リファレンスステーションを設置してください。

3.4.5 Husqvarna Fleet Services™ によるペアリング

1. Husqvarna Fleet Services™ アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Fleet Services™ アプリにログインします。

3. 本製品をオンにします。
4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
5. 本製品の Bluetooth® ボタンを押して、Bluetooth® を有効にします。

注記： Bluetooth® が有効になっている他のデバイスが、ペアリング操作に干渉することがあります。ペアリング操作に干渉が発生する場合は、他のデバイスの Bluetooth® を無効にします。

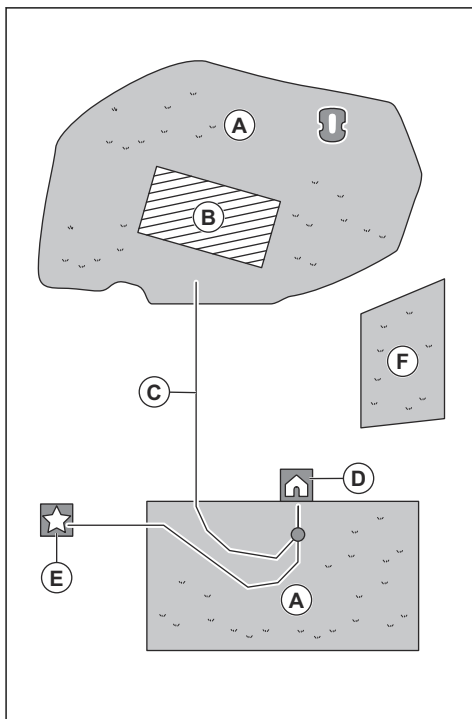
6. アプリで [Add Robotic mower (ロボット芝刈機の追加)] を選択して製品を追加し、アプリの指示に従います。

3.4.6 地図オブジェクトの設置

地図オブジェクトの設置に関する指示を読み、理解してください。地図上のどこに物体を設置するかを検討する 14 ページを参照してください。

地図上に、アプリでフォローする物体を設置できます。

- 作業エリア (A)
- 進入制限ゾーン (B)
- 輸送経路 (C)
- チャージステーション (D)
- メンテナンスポイント (E)
- 作業エリア (セカンダリエリア) (F)

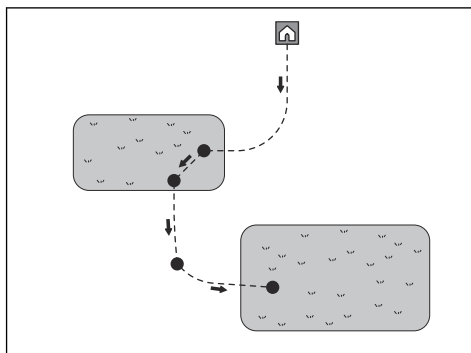


作業エリアは、仮想境界によって指定されます。最大 20 作業エリアとセカンダリエリアを地図上に設置できます。作業エリアは、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。

作業エリアには、次の 2 つのタイプがあります。

- チャージステーションがある作業エリア、または本製品が自動的に動作する輸送経路がある作業エリアに接続された作業エリア。
- セカンダリエリアとは、チャージステーションと輸送経路がない作業エリアです。本製品を手動で動かして、作業エリアを行き来させる必要があります。

輸送経路とは、チャージステーション前のドッキングポイントと作業エリア間の指定経路です。本製品はこの経路内で自動的に動作しますが、芝を刈ることはありません。輸送経路は、アプリで一時的に有効または無効にすることができます。1 つの輸送経路で本製品を複数のエリアに誘導できます。作業エリア内では、輸送経路に 1 つ以上の通過点を設置する必要があります。



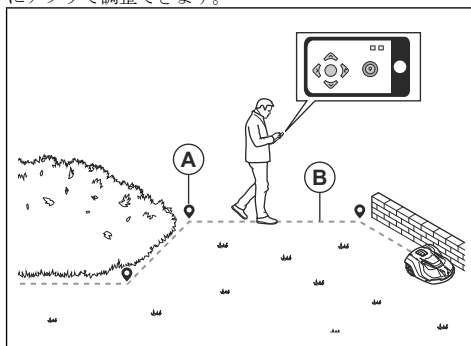
本製品を稼働させないエリアがある場合は、進入制限ゾーンを設置します。進入制限ゾーンは、仮想境界によって指定されます。進入制限ゾーンは、アプリで一時的に有効または無効にできます。

メンテナンスポイントとは、本製品を駐車できる指定位置のことです。これは、本製品のメンテナンスを行うサービスポイントなどに使用できます。メンテナンスポイントは、経路を使用してドッキングポイントと接続します。

地図上に物体を設置するには、appDrive 装置を使用して製品を操作し、地図上に通過点を追加します。地図上での物体の設置 21 ページを参照してください。

3.4.6.1 地図上での物体の設置

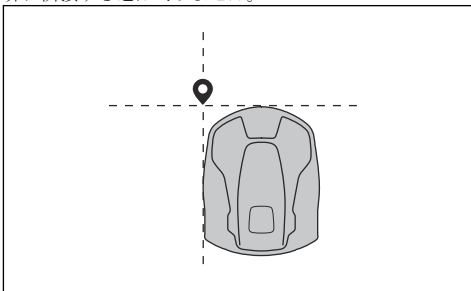
通過点 (A) は、仮想境界と経路 (B) を作成する位置です。線は、通過点間で直線になります。使用する通過点はできるだけ少なくすることをお勧めします。各作業エリア、関連する進入制限ゾーンおよび輸送経路に関して、通過点の合計最大数は 800 です。Husqvarna は、地図を完全にインストールするために、最大 1,000 の通過点を追加することをお勧めします。曲線を滑らかにするには、複数の通過点を使用します。Husqvarna は、通過点間の距離を 30 cm (1 フィート) 以上に設定することをお勧めします。通過点の位置は、地図のインストール後にアプリで調整できます。





注意： 地図オブジェクトをインストールするときは、通過点間で本製品を持ち上げたり移動したりしないでください。appDrive を使用して正しく設置してください。

注記： 作業エリアまたは進入制限ゾーンを設置するときのウェイポイントの位置は、本製品の左前隅になります。仮想境界は、本製品が稼動する領域を指定します。本製品は、カッティングディスクの位置により、仮想境界に隣接する芝は刈りません。



注記： 輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路を設置するときの通過点の位置は、本製品の駆動ホイール間の中心です。



- 自分が製品の近くにおいて、Bluetooth® によりアプリで本製品に接続していることを確認してください。
- 設置する物体を選択し、appDrive 装置のボタンで本製品を操作します。

注記： Bluetooth® 機能を備えたゲームコントローラーを appDrive とともに使用して、本製品を操作できます。

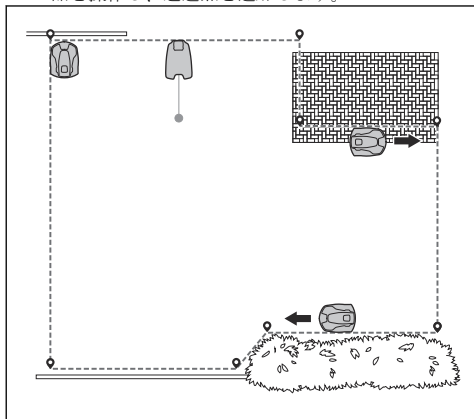
- ジョイスティックを使用して、本製品を任意の方向に移動、回転させることができます。
- 地図上に通過点を追加するには、[Waypoint (通過点)] ボタンを使用します。

注記： appDrive を使用して本製品を操作するときは、本製品の 2-3 m/6.5-9.8 フィート後ろを歩いてください。

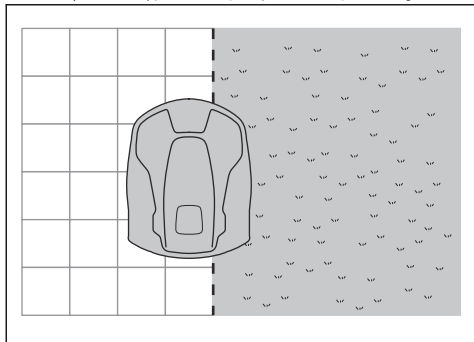
作業エリアを作成する

作業エリアを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 作業エリアの境界線を中心として、時計方向に本製品を操作し、通過点を追加します。

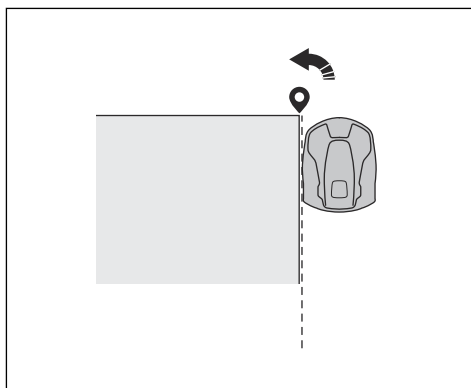


- 芝生と敷石の間の縁に、本製品に芝刈りをさせるための通過点を追加します。通過点を追加するときは、芝生の縁をまたぐようにしてください。

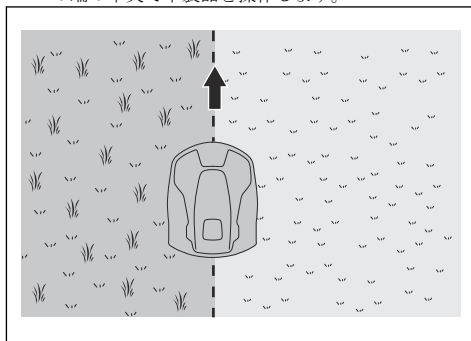


注記： 芝生に対する敷石の高さが 1 cm/0.4 インチ以下であれば、本製品は縁をまたぐことができます

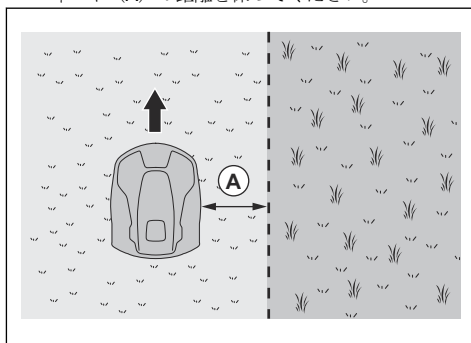
- 角部分の周囲に仮想境界を設置するために、外側の角に通過点を追加します。



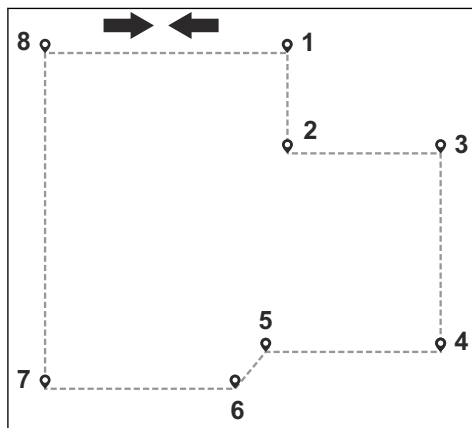
- ゴルフコースに設置する場合は、フェアウェイの作業エリアを指定します。フェアウェイとラフの間の端の中央で本製品を操作します。



- ゴルフコースに設置する場合は、ラフの作業エリアを指定します。本製品をフェアウェイで運転します。フェアウェイとラフの間の端から 30 cm/1 フィート (A) の距離を保ってください。



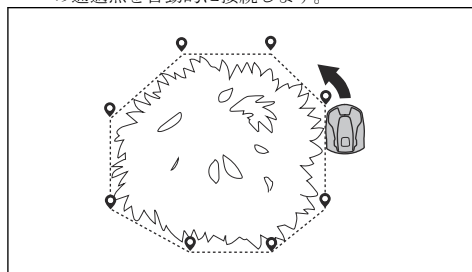
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ作業エリア内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 作業エリアを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。



進入制限ゾーンを作成する

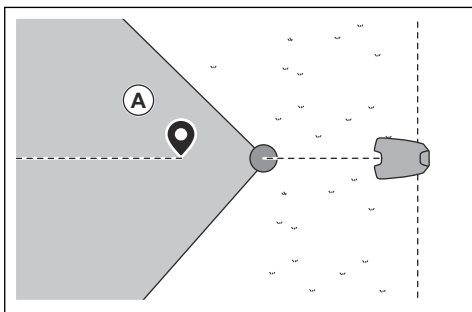
進入制限ゾーンを作成するには、3 つ以上の通過点が必要です。

- 本製品を進入制限ゾーンの境界周囲で反時計方向に移動させるか、アプリで既定の形状を選択します。
- 仮想境界を形成する通過点を、同じ進入制限ゾーン内の仮想境界を横切るように設定しないでください。
- 進入制限ゾーンを保存して、仮想境界の最初と最後の通過点を自動的に接続します。

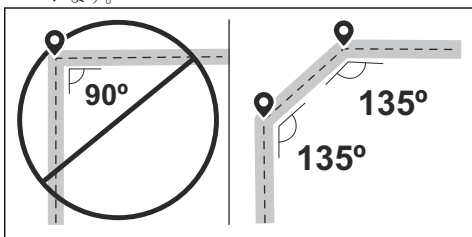


輸送経路を作成する

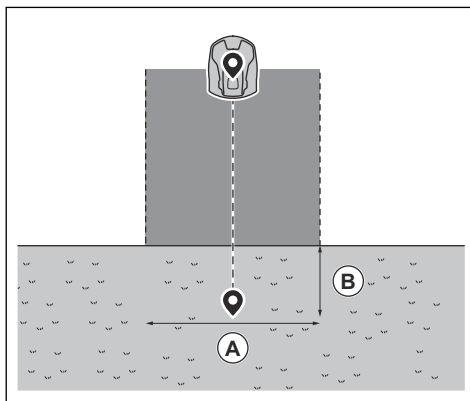
- 製品を操作して地図上に通過点を追加し、輸送経路を設置します。作業エリアまたはチャージステーションの近くから開始します。
- 作業エリアに、最初または最後の通過点を、仮想境界から 1 m (3.3 フィート) 以上の距離を空けて設置します。
- 輸送経路 (A) 上に、ドッキングポイントから見て角度が ± 45 度となるように、最初または最後の通過点を設置します。



- 作業エリアの仮想境界に対して垂直に輸送経路を設置します。
- 進入制限ゾーンを横切るように輸送経路を設置しないでください。
- 輸送経路が同じ輸送経路を横切るような通過点を設置しないでください。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。Husqvarna では、滑らかな曲線を作成するために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。

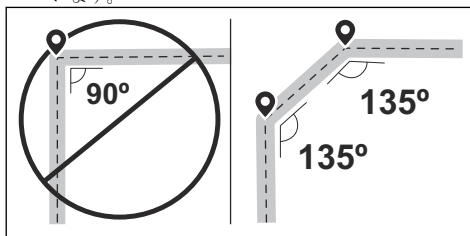


- 本製品を操作して通過点を追加し、輸送経路をドッキングポイントに接続します。各作業エリアに通過点を1つ以上設置し、本製品を作業エリアに誘導します。
- 輸送経路を保存すると、ドッキングポイントに輸送経路が自動的に接続されます。
- 輸送経路の経路幅 (A) を設定します。経路幅は2 ~ 5 m (6.6 ~ 16.4 フィート) の範囲で設定できます。

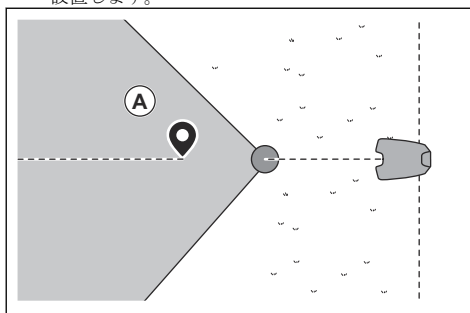


メンテナンスポイントを作成する

- 本製品を操作して、地図上に通過点を追加します。メンテナンスポイントを設置する位置で、通過点の追加を開始します。最初の通過点により、メンテナンスポイントが指定されます。
- 輸送経路を設置するときは、鋭角や直角を避けてください。Husqvarna では、滑らかな曲線を作成するために、さらに通過点を追加することをお勧めしています。

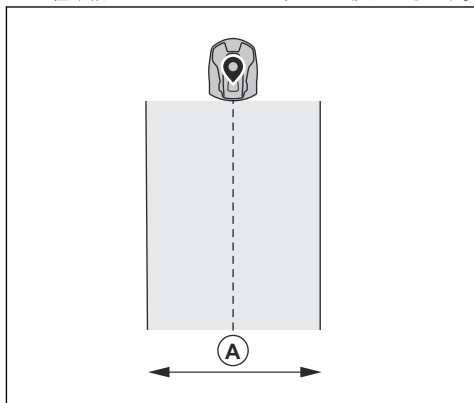


- 本製品を操作して通過点を追加し、チャージステーションまでの経路を作成します。
- ドッキングポイントから見て ± 45 度の角度内となるように、最後の通過点を輸送経路 (A) の上に設置します。



- メンテナンスポイントを保存して、最後の通過点をドッキングポイントに自動的に接続します。

- メンテナンスポイントの経路幅 (A) を設定します。
経路幅は 2-5 m/6.6-16.4 フィートに設定できます。



4 設定

4.1 エリア



4.1.1 スケジュール



[Schedule (スケジュール)] メニューで、本製品のスケジュール設定を変更できます。作業エリアごとに個別のスケジュールを設定できます。セカンダリエリアはスケジュールを設定できません。スケジュール機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。

作業エリアの形状、障害物の数、斜面により、芝刈り性能が低下します。

	システムチェック芝刈り	不規則な芝刈り
対応エリア - スポーツ 24	毎日芝刈り	毎日芝刈り
対応エリア - 標準 48	1 日おきに芝刈り	毎日芝刈り

本製品の最大対応エリアは、用途や芝生の品質によって異なります。

- 対応エリア - スポーツ 24：毎日（24 時間）芝刈りする必要がある、競技場やゴルフ場のフェアウェイの最大対応エリアです。手入れが行き届いた緑が生い茂る高密度の芝や、刈高が低い芝生に適しています。
- 対応エリア - 標準 48：1 日おきに（48 時間）システムチェックに芝刈りする必要がある、施設周辺エリアやゴルフ場のラフなど、多くの芝生の最大対応エリアです。不均一なパターンでは、毎日芝刈りする必要があります。標準的な芝生品質を中程度の刈高で芝刈りする場合に有効です。

4.1.1.1 システムチェック芝刈りのスケジュールの設定方法

- 製品ができるだけ長時間稼働するようにスケジュールを設定します。

注記： 作業エリア全体の芝刈りを終了した後、本製品はチャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は再び作業エリア全体を芝刈りします。

注記： セッションを終了する前に本製品が作業エリア全体を刈れなかった場合は、チャージステーションに戻ります。次のセッションが開始されると、本製品は停止した場所から芝刈りを続行します。

- スケジュールを 2 つ設定して、作業エリアの芝刈りを 1 日に 2 回行うこともできます。作業エリア全体の芝刈りを行うために十分な時間が確保されるよう製品のスケジュールを設定します。
- 2 つ以上のスケジュールを平行して設定すると、長い間芝刈りを行っていない場所から芝刈りを開始します。
- 本製品が各作業エリアの芝刈りを 24 時間以内に完了しているか確認してください。本製品が作業エリアの芝刈りを 24 時間以上する必要がある場合は、作業エリアをより狭い作業エリアに分割します。

4.1.1.2 不規則な芝刈りスケジュールの設定方法

本製品は、スケジュールされた時間すべてで不規則な芝刈りを行います。

- 芝の損耗を防ぐには、スケジュールされた時間を短くします。
- 刈り込みの仕上がりที่ไม่十分な場合は、運転時間を長くしてください。「スケジュール 26 ページ」を参照してください。
- 異なる作業エリアに平行して 2 つ以上のスケジュールを設定している場合、製品は最初に 1 つの作業エリアの芝刈りを開始します。製品を充電するたびに、別の作業エリアの芝刈りを開始します。

4.1.2 刈高



Automower 540/560/580 EPOS® の場合、刈高は 20～60 mm/0.8～2.4 インチに設定できます。Automower 580L EPOS® の場合、刈高は 10～50 mm/0.4～2.0 インチに設定できます。

4.1.3 パターン



パターンの設定は、作業エリアごとに設定します。次の設定が可能です。

- 製品の動作パターンを設定します。
- パターンによっては、方向の設定が可能です。

- ・ パターンによっては、境界の芝刈りの種類を設定できます。固定境界の芝刈りでは、製品は常に同じ経路で動作し、作業領域の周囲にシャープな境界線を維持します。可変境界芝刈りでは、仮想境界に沿ってわだちが残りにくくなるように、異なる経路で芝を刈ります。

Husqvarna では、広い作業エリアや開放的な作業エリアの作業には、規則的なパターンの使用をお勧めしています。障害物のある作業エリアで規則的なパターンを使用する場合は、障害物の周囲に進入制限ゾーンを設け、可能な限り仕上がりが良好になるよう多方向に芝刈りを行うパターンを使用します。

Husqvarna では、作業エリアが複雑で障害物が多い場合、不規則なパターンの使用をお勧めしています。

4.2 構成



4.2.1 一般設定

4.2.1.1 ECO モード

本製品がチャージステーションにいる時は、チャージステーションの信号が自動的に無効になります。ECO モードを使用してチャージステーションの信号を無効にする必要はありません。これにより、ヒ어링ループなどの他の機器との干渉を防ぎます。Husqvarna は、ECO モードを無効のままにすることをお勧めします。ECO モードはエネルギーを節約しますが、本製品の操作に満足のいかない影響を与える可能性があります。

4.2.1.2 警告灯

警告灯のタイミングを制御する設定には、以下の 4 つがあります。

- ・ 常時オン
- ・ 夕方のみ (19:00-00:00)
- ・ 夕方と夜間 (19:00-07:00)
- ・ 常時オフ

警告灯は、白色の点灯、オレンジ色の点灯、またはストロボアンバーライトに設定できます。また、エラー発生時に警告灯が点滅するように設定できます。

注記： Husqvarna では、特に夜間に警告灯を使用することをお勧めしています。

4.2.2 セキュリティ設定

4.2.2.1 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

4.2.2.2 ストップボタン押下状態

アラーム「STOP button pressed (ストップボタン押下状態)」が有効になっている場合は、誰かが【STOP (ストップ)】ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

4.2.2.3 持ち去り

アラーム「Carried away (持ち去り)」が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

4.2.2.4 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときのみ、GeoFence は有効化されます。

4.2.3 設置の設定

4.2.3.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

4.3 Bluetooth® メニュー

Bluetooth® メニューは、Husqvarna Fleet Services™ のアプリバージョンからのみアクセスできます。安全性とセキュリティ上の理由から、一部のメニューは Bluetooth® 接続でのみ使用できます。

Bluetooth® を使用して本製品に接続するには、Bluetooth® の通信範囲内 (約 30 m/100 フィート) にいる必要があります。アプリの Bluetooth® アイコンを押すと、Bluetooth® に接続できます。

4.3.1 セキュリティ設定

4.3.1.1 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照：はじめに A ページ。

4.3.2 全般

4.3.2.1 Time & date (時刻 & 日付)

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.4 エラーログ

このメニューでは、過去のエラーメッセージを確認できます。また、エラーの修正に役立つヒントやアドバイスも確認できます。同じメッセージが数回繰り返された場

合は、設置場所または本製品に対する調整が必要である
かもしれません。

4.5 無線ファームウェアのダウンロード(Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。Husqvarnaでは、新しいファームウェアが利用可能になった際に、ファームウェアのアップデートをお勧めしています。

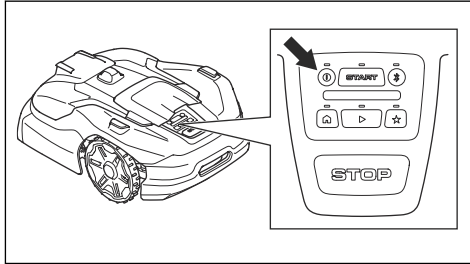
5 動作

5.1 本製品をオンにする



警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

1. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオンにします。LED インジケータが点灯していることを確認します。



2. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
3. 製品を選択してから **Bluetooth®** を選択すると、**Bluetooth®** メニューにアクセスできます。
4. PIN コードを入力します。

5.2 スケジュールに従って作業を行う

製品が、設定されたスケジュールに従って作業エリアで芝刈りを行い、自動で充電を行います。

5.2.1 アプリでスケジュールされた動作を選択する方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **START** > **[Resume Schedule (スケジュールを再開)]** の順に選択します。

5.2.2 コントロールパネルでスケジュールされた動作を選択する方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Play (実行)]** ボタンを押します。
3. **START** ボタンを押します。

5.3 選択した作業エリアで芝刈りを行う、またはスケジュールを上書きする

アプリで、指定した作業エリアの芝刈りを行うように選択できます。不規則なパターンの作業エリアの場合、本製品の芝刈り時間を設定できます。規則的なパターンの作業エリアの場合、本製品は 1 度作業エリア全体の芝刈りを行い、完了後に駐車します。

5.3.1 アプリで作業エリアを選択する方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[START]** を選択します。
3. 作業エリアを選択します。

5.3.1.1 輸送経路なしで作業エリアを芝刈りする

製品がドッキングポイントまたは輸送経路から作業エリアに移動できない場合、次の手順を実行します。

1. **appDrive** またはリフトを使用して、本製品を作業エリアに手で移動します。
2. アプリで、**[開始]** を選択し、本製品を配置する作業エリアを選択します。

5.4 駐車

[Park (駐車)] 動作モードでは、本製品がチャージステーションに戻ります。本製品は、選択した期間、または新しい動作モードを選択するまで、チャージステーションに待機します。

5.4.1 アプリで **[Park (駐車)]** を選択する

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[Park (駐車)]** を選択します。
3. 本製品がチャージステーションに待機する期間を選択します。

5.4.2 コントロールパネルで **[Park (駐車)]** を選択する

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Park (駐車)]** ボタンを押します。
3. **START** ボタンを押します。

本製品は、チャージステーションに 3 時間待機してから、設定されたスケジュールに従って動作し続けます。

5.5 メンテナンスポイントに駐車

メンテナンスポイントに本製品を駐車させて、メンテナンスを行うことができます。

5.5.1 アプリを使用して本製品をメンテナンスポイントに駐車させる方法

1. ご使用のモバイルデバイスで、アプリを開きます。
2. **[Park (駐車)]** > **[Maintenance point (メンテナンスポイント)]** を選択します。

新しい動作モードを選択するまで、本製品はメンテナンスポイントに駐車し続けます。

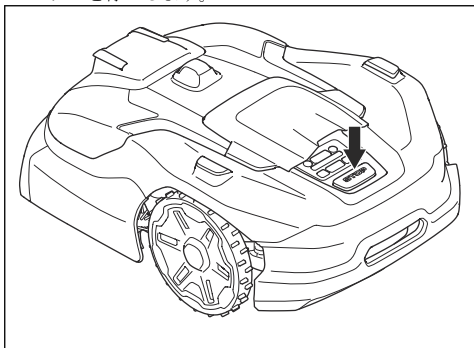
5.5.2 コントロールパネルを使用して本製品をメンテナンスポイントに駐車させる方法

1. **STOP** ボタンを押します。
2. **[Maintenance point (メンテナンスポイント)]** ボタンを押します。
3. **START** ボタンを押します。

新しい動作モードを選択するまで、本製品はメンテナンスポイントに駐車し続けます。

5.6 本製品の停止方法

1. **STOP** ボタンを押して本製品とカッティングモーターを停止します。

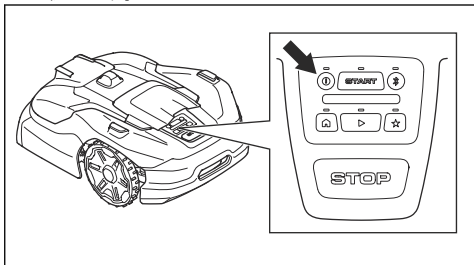


5.7 本製品をオフにする

1. 本製品の上部にある **STOP** ボタンを押します。
2. アプリの短距離 Bluetooth® で本製品を接続します。
3. アプリで PIN コードを入力します。

注記： 本製品が Bluetooth® でアプリと接続されていない場合、本製品を **OFF** に設定することはできません。

4. **ON/OFF** ボタンを 3 秒間押して、本製品をオフにします。LED インジケータが消灯していることを確認します。



5.8 バッテリーの充電



警告： 本製品を使用する前に、バッテリーに関する安全注意事項を読んで理解してください。「バッテリーの安全 5 ページ」を参照してください。

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。バッテリーが完全に空の場合、本製品は非常にゆっくりと充電します。本製品は、電源を入れる前に長時間充電できます。

1. 本製品がチャージステーションに完全に入るように、本製品をチャージステーションに配置します。
2. アプリで充電が進行中であること、または LED インジケータが青で脈動点滅していることを確認します。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス



警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。



警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 2 ～ 5 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さと厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、芝刈りの結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、**ブレードの交換 34** ページを参照してください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

	毎週	毎月	1 年に 1 回	3 年に 1 回
準備				
製品を清掃します。製品の清掃 32 ページを参照してください。	X			
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X			
ファームウェアのアップデートを行います。			O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。			O	
サービス				
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。ブレードの交換 34 ページを参照してください。	X			
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。			X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。			X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電します。バッテリーの充電 30 ページを参照してください。			X	
エアフローフィルターを点検して清掃します。		X		
ホイールに磨耗がないか点検します。			O	
ホイールブラシを点検して、消耗した場合は交換します。		X		
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント/リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。			O	

	毎週	毎月	1年に1回	3年に1回
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。			○	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクタを確認します。			○	
シャーシのラバークロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。			○	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。			○	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。			○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。			○	
衝突ショックアブソーバーのラバー製ベローズを交換します。				○
エアフローフィルターを交換します。				○
シャーシのネジの締付トルクを確認します。			○	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。				○
最後のステップ				
ソフトウェアサービストールを使用して、本製品の機能テストを行います。			○	

6.3 製品の清掃

Husqvarna は、別売りの特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。



注意： 本製品とチャージステーションの清掃には高圧水を使用しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

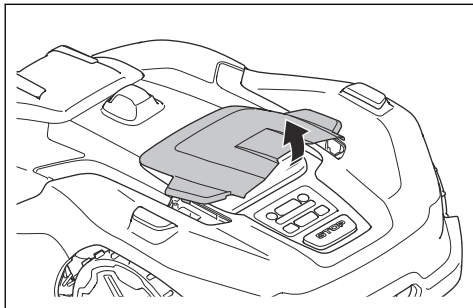
6.3.1 本体、シャーシおよびブレードディスクの清掃方法



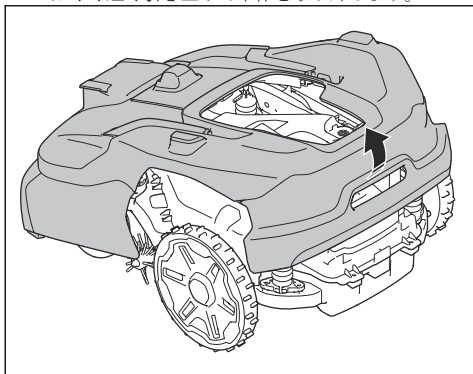
注意： 本製品を水で洗浄する前に、カッティングディスクが本製品に取り付けられていることを確認してください。

ブレードディスクとブレードは週に 1 回点検してください。本製品を丸ごと清掃する際は、キーパッドカバーおよび製品本体を取り外すことができます。本製品が汚れている場合は、必要に応じて低刺激性の石鹸水を使用してください。ブラシまたは水ホースで本製品を清掃してください。

1. 本製品をオフにします。
2. キーパッドカバーを慎重に引いて取り外します。



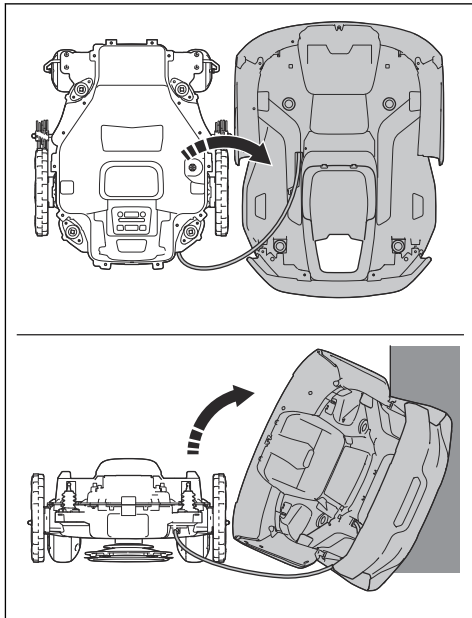
3. 片手でシャーシを持ち、本製品の前方に向かってすばやく短く引き上げて本体を取り外します。



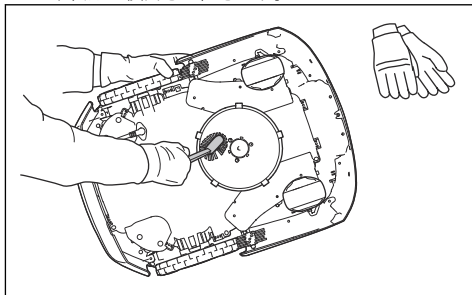


警告： 製品本体とシャーシの間に手を入れると、負傷の危険性があります。

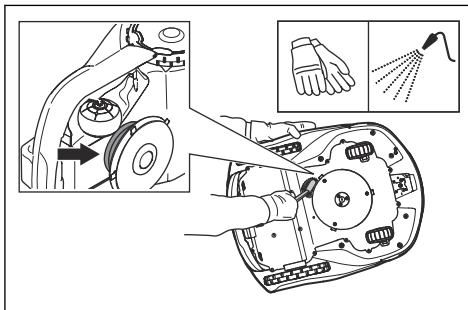
4. 製品本体はシャーシの近くに置るか、壁に立てかけます。



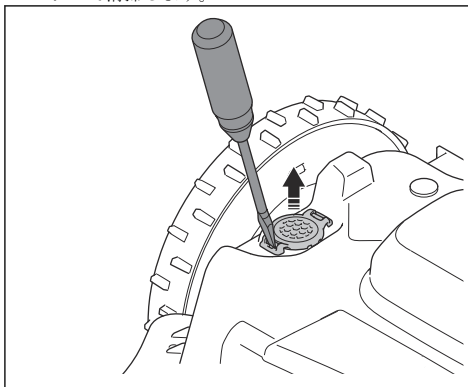
5. 本製品を横向きに置きます。



6. ブラシを使用して、ブレードディスクのベローズとシャーシを清掃します。このとき、ブレードディスクが自由に回転することを確認します。ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。



7. 換気用フィルターのカバーを取り外し、柔らかいブラシで清掃します。



6.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

6.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

6.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹸液を使用して、本製品の本体を清掃します。

6.3.5 チャージステーションの清掃



警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。



注意：チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

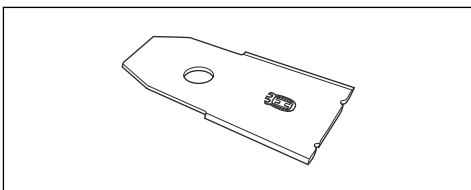
注記：チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

6.4 ブレードの交換



警告：Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保證できます。



警告：ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。



警告：保護グローブを着用してください。

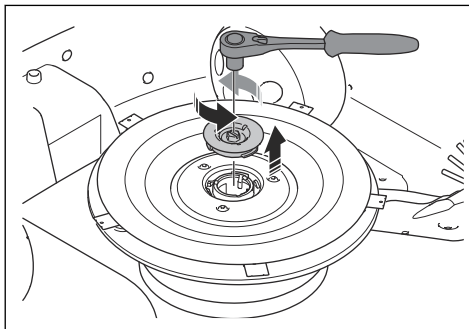
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、3 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

6.4.1 ブレードディスクの交換方法

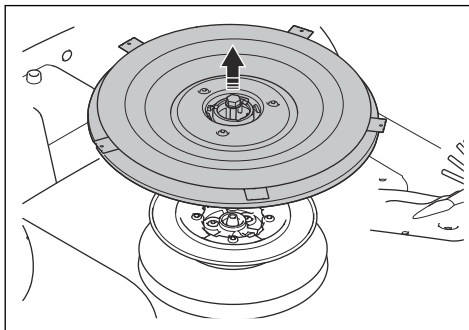


警告：保護グローブを着用してください。

1. **STOP** ボタンを押します。
2. 本製品をオフにします。
3. ブレードディスクを上にして製品を置きます。
4. 10 mm ソケットレンチでブレードディスクのカップリングを取り外します。



5. 10 mm ソケットレンチでネジを緩めます。



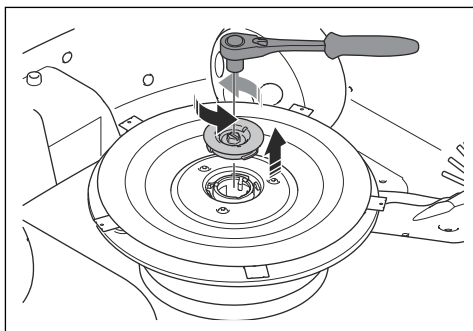
6. ブレードディスクを取り外します。
7. シャフトとハブが汚れている場合は清掃します。
8. ブレードディスクを逆の手順で取り付けます。

6.4.2 ブレードディスクのブレードを交換する方法

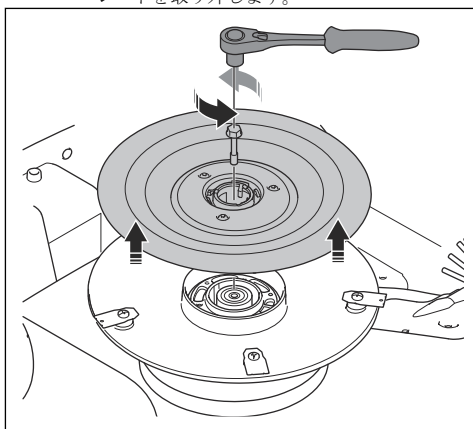


警告：保護グローブを着用してください。

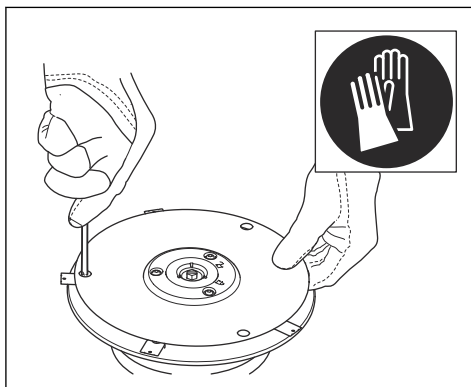
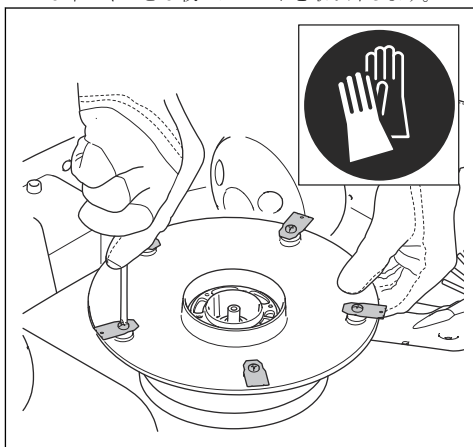
1. スキッドプレートに穴がない場合は、スキッドプレートを取り外します。
 - a) 10 mm ソケットレンチでブレードディスクのカップリングを取り外します。



- b) スキッドプレートを持ち上げ、10 mm ソケットレンチでネジを取り外します。スキッドプレートを取り外します。



2. 5本のネジと5枚のブレードを取り外します。



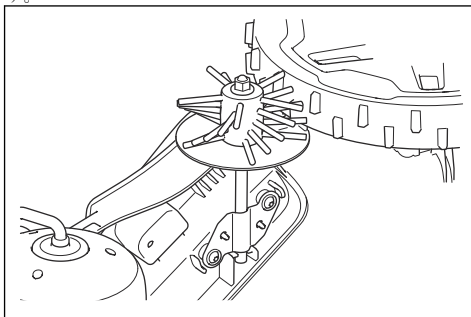
3. 新しい5枚のブレードとネジを取り付けます。
4. スキッドプレートを取り外した場合は、スキッドプレートとネジを取り付けます。

注記： 締め付けトルクは 6 Nm です。

5. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

6.5 ホイールブラシの交換

ホイールブラシは一部のモデルでは工場出荷時に取り付けられています。すべてのモデルでアクセサリとして使用できます。本製品のホイールブラシは製品のホイールから草を取り除きます。Husqvarna では 5~10 週間でホイールブラシを交換することをお勧めしています。



6.6 バッテリー



注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。



注意： バッテリーは必ず認定サービス技術者が交換してください。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

6.7 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの **Husqvarna** センtralサービスにお持ちください。

冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

7 トラブルシューティング

7.1 はじめに - トラブルシューティング

本章には、機能不良があると Husqvarna Fleet Services™ に表示される多数のメッセージが記載されています。各メッセージに関して、原因と取るべき対策の提案も記載されています。この章では、本製品が期待通りに作動しない場合にガイドとして役立つ、いくつかの症状も説明しています。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

7.1.1 メッセージ

アプリに表示されるメッセージは以下の表のとおりです。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Cutting system blocked</i> (カッティングシステムブロック)	ブレードディスクが草などの異物によってブロックされています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水中にあります。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。
	芝が高くて厚みがある状態です。	芝の高さに合わせて刈高を調整します。 スケジュール設定を調整して、作業時間を長くします。
予期しない刈高調整	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝や異物を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Limited cutting height range</i> (刈高範囲の制限)		
刈高の問題		
<i>Cutting height blocked</i> (刈高ブロック)		
カッティングシステムの大きなアンバランス	本製品がブレードディスクの振動を検出しています。	ブレードとネジに損傷や摩耗がないか確認します。すべてのブレードが正しく取り付けられていること、ブレードディスクの各位置にブレードが1つのみ取り付けられていることを確認してください。
<i>Cutting system imbalance</i> (カッティングシステムのアンバランス)		
カッティングモーターが高温 (中央)	温度が高すぎる、芝が高すぎる、密生しすぎている、または傾斜が急すぎる場所で本製品が動作しています。	本製品を、日光から保護されている場所に置いて待機させてください。芝が短い水平な地面に本製品を置いて始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
高い内部温度		
<i>Upside down</i> (上下反転)	本製品が傾いているか、製品本体が上下逆になっています。	本製品を正しい位置に置きます。
<i>Mower tilted</i> (芝刈機の傾き)	本製品の傾きが最大角度を超えています。	水平な地面があるエリアに本製品を移動します。
<i>Lifted</i> (持ち上げられました)	本製品が持ち上げられたため、リフトセンサーが作動しました。	本製品を移動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Trapped</i> (走行不能)	本製品は、小さな領域で複数の障害物の背後にあります。	エリアを確認して、本製品をその場所から動けないようにしている障害物を取り除きます。
<i>Slipped</i> (スリップ)	本製品が障害物に当たって停止したか、濡れた芝でホイールが動きません。	本製品を移動して、問題の原因を解決します。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	進入制限ゾーンを作成して、作業エリアから急勾配エリアを除外します。
<i>Collision</i> (衝突)	製品本体がシャーシの周囲で自由に動くことができません。	シャーシと製品本体の間の汚れや異物を取り除きます。製品本体がそのシャーシの周囲を自由に動くことを確認してください。
	本製品は前後に移動できません。	本製品の動きを妨害している物体を取り除きます。
<i>Slope too steep</i> (急すぎる斜面)	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	設置を変更し、急勾配の部分の作業エリアを除外します。
<i>Alarm! (注意!) Mower stopped</i> (芝刈機の停止)	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	PIN コードを入力してアラームを解除します。
<i>Alarm! (注意!) Mower outside Geofence</i> (芝刈機がジオフェンス外)	本製品が GeoFence エリア外に移動したため、アラームが作動しました。	
<i>Alarm! (注意!) Mower was moved</i> (芝刈機が動かされました)	本製品が移動されたため、アラームが作動しました。	
<i>Radar problem</i> (レーダーの問題)	本製品は引き続き動作しますが、速度は低下します。	レーダーのウィンドウを清掃します。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Wheel drive problem, right/left</i> (右/左ホイール駆動問題)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Wheel motor overloaded, right/left</i> (右/左ホイールモーター過負荷)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
<i>Wheel motor blocked right/left</i> (右/左ホイールモーターブロック)	ホイールが草などの異物によってブロックされています。	ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Outside working area</i> (作業エリア外です)	仮想境界のそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	仮想境界が正しく設置されていることを確認します。作業エリアを作成する 22 ページを参照してください。
	輸送経路またはメンテナンスポイントへの経路の斜面勾配が大きすぎます。	輸送経路が正しく設置されていることを確認します。輸送経路を作成する 23 ページを参照してください。
	近くに設置されている別の製品からのループ信号と干渉しているため、製品が正しいチャージステーション信号を見つけることができません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 27 ページを参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。
地図の問題	作業エリアが指定されていません。	アプリで作業エリアを作成します。作業エリアを作成する 22 ページを参照してください。
	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。
<i>Work area tampered</i> (作業エリアの改ざん)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題。	本製品を再起動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	チャージステーションが移動しました。	チャージステーションを元の位置に戻すか、アプリにチャージステーションを再インストールして、新しい位置を設定します。
	リファレンスステーションが移動しました。	リファレンスステーションを元の位置に戻すか、アプリにリファレンスステーションを再インストールして、新しい位置を設定します。リファレンスステーションを新しい位置に移動した場合は、工場出荷時設定にリセットして、すべての地図を再インストールする必要があります。
通過点が多すぎます	現在の作業エリアでは、通過点が多すぎます。	現在の作業エリアを複数の作業エリアに分割するか、現在の作業エリア、進入制限ゾーン、および輸送経路をやり直して、使用する通過点を減らします。
<i>Destination blocked</i> (移動先ブロック)	移動先への経路が障害物によりブロックされています。	移動先への経路で、ブロックしている障害物を取り除きます。
	移動先への経路が進入制限ゾーンによりブロックされています。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	作業エリアへの輸送経路がありません。	作業エリアへの輸送経路を作成してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Destination not reachable</i> (移動先到達不可)	作業エリアまでの経路上に、通行をブロックする進入禁止が設定されているため、本製品は移動先に到達できません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
	作業エリアへの輸送経路がありません。	作業エリアへの輸送経路を作成してください。
	チャージステーションに戻る経路が障害物によりブロックされています。	障害物を取り除きます。
	メンテナンスポイントへの経路が障害物によりブロックされています。	
衛星の検索中	リファレンスステーションへの衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	製品への衛星信号が弱くなっています。	衛星信号が一時的に弱い状態です。衛星信号が良好になると、製品が始動します。
		本製品と上空の間に、衛星信号に干渉する物体があるかを確認します。物体を除去するか、新たに設置を行って、作業エリアにこれらの物体がないようにします。作業エリアを作成する 22 ページを参照してください。
リファレンスステーションの通信の問題	製品がリファレンスステーションに接続されていません。	製品とリファレンスステーションのペアリングを行います。
	リファレンスステーションが正しく設置されていません。	リファレンスステーションの設置を確認します。リファレンスステーションの取扱説明書を参照してください。
	本製品が動作するすべてのエリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信できません。	すべての作業エリアで、製品がリファレンスステーションからの無線信号を受信しているかを確認します。受信していない場合は、新たにリファレンスステーションの設置または地図のインストールを行います。地図オブジェクトの設置 20 ページを参照してください。
	電源の不具合です。	リファレンスステーションの電源不具合の原因を調べて修正してください。
	リファレンスステーションでエラーが発生し、LED インジケータが赤色で点滅しています。	リファレンスステーションの電源を切断し、再度接続してから、リファレンスステーションを再起動します。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	エリア内の別のリファレンスステーションまたは他の無線システムとの干渉が生じています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Accessory power problem</i> (アクセサリーの電源の問題)	アクセサリポートに電源の問題があります。	本製品をオフにして、アクセサリをアクセサリポートから取り外して再接続します。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
接続の問題	携帯電話通信による接続の問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
<i>Invalid firmware configuration</i> (無効なファームウェア設定)	本製品のファームウェアが更新されていません。	ファームウェアを最新のバージョンにアップデートします。
<i>Invalid system configuration</i> (無効なシステム設定)	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Invalid sub-device combination</i> (無効なサブデバイス組み合わせ)		
<i>Loop sensor problem</i> (ループセンサーの問題)		
<i>Tilt sensor problem</i> (傾斜センサー不具合)		
<i>Lift sensor problem</i> (リフトセンサーの問題)		
カッティングモーターの問題、中央		
<i>Collision sensor problem</i> (衝突センサーの問題)		
衝突の問題、前方/後方		
STOP ボタン不具合		
<i>Safety function faulty</i> (安全機能の不具合)		
<i>Electronic problem</i> (電気系の問題)		
内部電圧の問題		
一時的なバッテリーの問題		
高すぎる内部電流	芝が高すぎる、密生しすぎている、傾斜が高すぎる場所で動作していたため、本製品が停止しました。	芝が短い水平な地面に本製品を置いて始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
高い内部出力損失		
高すぎる電流		

メッセージ	原因	対応措置
<i>Empty battery</i> (バッテリー空)	本製品がチャージステーションを見つけ ることができません。	本製品の位置が正確ではなく、チャージ ステーションが見つかりません。
		本製品を妨害している物体があるため、 チャージステーションを見つけることが できません。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。バッテリーの 取り外し方法 49 ページを参照してく ださい。
	チャージステーションのアンテナに不具 合があります。	チャージステーションの LED インジケ ータが赤色に点滅している場合は、チャ ージステーションのアンテナに不具合が あります。認定サービス代理店にご連絡 ください。
<i>Battery problem</i> (バッテリー の問題)	バッテリーまたはファームウェアの一時的 な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解 決しない場合は、認定サービス代理店に 相談してください。
	バッテリーのタイプが間違っています。	メーカーが推奨する純正バッテリーのみ を使用してください。
<i>Battery needs replacement</i> (バッテリーの交換が必要)	バッテリーの健全性状態が低下していま す。	バッテリーを交換します。認定サービス 代理店にご連絡ください。
<i>Battery near end of life</i> (バッ テリーの寿命が近づいていま す)	バッテリーの健全性状態が大幅に低下し ています。	
<i>Battery temperature outside limits</i> (バッテリー温度が範囲 外)	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎる ため、本製品は始動できません。	バッテリーの温度が下がると、本製品は 始動します。チャージステーションの設 置場所が日光から保護されていることを 確認してください。
<i>No power in charging station</i> (チャージステーションの電 力なし)	電源が正しくないか、損傷しています。	電源を点検します。必要に応じて、電源 を交換します。
	電源の不具合です。	チャージステーションの電源不具合の原 因を調べて修正してください。
	本製品のチャージプレートとチャージス テーションの接点プレートの接続が良好 ではありません。	チャージプレートと接点プレートが接続 されていることを確認します。
<i>Charging system problem</i> (充 電システムの問題)	チャージプレートと接点プレートに腐食 や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品の チャージプレートおよびチャージステ ーションの接点プレートを清掃してくだ さい。
	電子関連またはファームウェアの一時的 な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解 決しない場合は、認定サービス代理店に 相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
<i>Charging current too high</i> (高すぎる充電電流)	電源ユニットが正しくないか、不具合があります。	電源装置とチャージステーションに不具合がないことを確認します。適切な電源装置とチャージステーションを使用していることを確認してください。本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
<i>Charging station communication problem</i> (チャージステーションの通信の問題)	本製品がチャージステーションと通信できません。	チャージステーションの新規ループ信号を作成するか、再インストールしてください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。
	電源の不具合です。	電源不具合の原因を特定して解決します。
<i>Charging station blocked</i> (ステーションブロック)	本製品のチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接続が良好ではありません。本製品は充電を何度か試みています。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージプレートと接点プレートが接続していることを確認します。
	障害物のため本製品がチャージステーションに入ることができません。	障害物を取り除いてください。
	チャージステーションが傾いているか、曲がっています。	ベースプレートを水平面に置きます。
<i>Stuck in charging station</i> (チャージステーションにスタック)	障害物のため本製品がチャージステーションから移動できません。	障害物を取り除いてください。
	ベースプレートの表面が濡れているか汚れているため、本製品がチャージステーションから出ることができません。	チャージステーションのベースプレートを清掃します。
高い充電出力損失	カッティングデッキのチャージプレートとチャージステーションの接点プレートの接触が良好ではありません。	カッティングデッキのチャージプレートとチャージステーションの接点プレートを磨いてください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を始動します。問題が解決しない場合は、販売店にご連絡ください。
<i>Guide 1 not found</i> (ガイド1が見つかりません)	以前取り付けたガイドワイヤーが見つかりません。	ガイドワイヤーがチャージステーションまたは境界ワイヤーに正しく接続されていることを確認します。ガイドワイヤーに損傷がないことを確認します。

メッセージ	原因	対応措置
チャージステーションの信号がない	電源またはチャージステーション用の低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED インジケータが点灯しない場合は、電力が供給されていないということです。コンセントの接続と漏電遮断器を点検します。メインケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源またはチャージステーション用の低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	[ECO mode (ECO モード)] が有効で、チャージステーションの LED インジケータが緑色に点滅しています。本製品が作業エリア内で手動で始動されましたが、製品がチャージステーションから移動される前に STOP ボタンが押されませんでした。チャージステーションの信号が無効になっているため、本製品がチャージステーションに入ることができません。本製品をオンにする 29 ページを参照してください。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。本製品をオンにする 29 ページを参照してください。
	本製品がチャージステーションのループ信号を検出できません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。新規ループ信号 27 ページを参照してください。
	チャージステーションが正しく設置されていません。	指示に従ってチャージステーションを取り付けてください。チャージステーションを設置する方法 17 ページを参照してください。
	フェンス、補強鋼材などの金属の物体、チャージステーション付近の埋設ケーブルからの干渉があります。	チャージステーションの位置を変更します。
修正データがありません	チャージステーションがワイヤーによるドッキングで設置されている場合：境界ワイヤーが損傷しているか、正しく取り付けられていません。	境界ワイヤーがチャージステーションに正しく接続されていることを確認します。境界ワイヤー上のすべての接合を点検します。境界ワイヤーが損傷していないか確認し、必要に応じて修理します。
	Husqvarna® Cloud を介した EPOS® の技術的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
Multiple reference stations (複数のリファレンスステーション)	本製品に携帯電話接続がないため、修正データを受信できません。	本製品が動作するエリア全体が、携帯電話の通信可能範囲内にあることを確認してください。
	作業エリアの近くに複数のリファレンスステーションがあります。これにより、別のリファレンスステーションからの本製品の干渉が発生する可能性があります。	同じ問題が頻発する場合は、認定サービス販売店にご連絡ください。

7.1.2 チャージステーションの LED インジケータランプ

設置が完全に機能している場合、チャージステーションのインジケータランプは緑色で点灯または点滅している必要があります。別の色になっている場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従ってください。

www.husqvarna.com で詳しいヘルプを参照できます。さらに支援が必要な場合は、最寄りの **Husqvarna** 販売店にお問い合わせください。

ランプ	ステータス
緑色の点灯	通常運転。
緑色の点滅	通常運転。本製品が駐車し、チャージステーションの信号がオフになっています。
青色の点滅	チャージステーションがワイヤーによるドッキングで設置されている場合のみ:境界ワイヤーが損傷しているか、境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。
黄色の点滅	チャージステーションがワイヤーによるドッキングで設置されている場合のみ:ガイドワイヤーが損傷しているか、ガイドワイヤーがチャージステーションに接続されていません。
紫色の点灯	チャージステーションのファームウェア更新が進行中です。
赤色の点滅	チャージステーションのアンテナの中断最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色の点灯	回路基板の不具合、またはチャージステーションに不適切な電源が接続されています。不具合は必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.1.3 症状

本製品が正常に動作しない場合は、下の症状表を参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションに入ることができない。	チャージステーションが水平な場所ではありません。	チャージステーションは、平らな場所に設置してください。「チャージステーションの設置場所について 13 ページ」を参照してください。
	チャージステーションが作業エリアから離れすぎています。	新しい作業エリアを作成するか、チャージステーションを移動します。
	近くに別のチャージステーションが設置されているため、干渉が発生しています。	チャージステーション間の距離が最低 3 m/9.8 フィートであることを確認してください。
本製品が指定していない時間に動作する。	本製品の時刻と日付を設定する必要があります。	時刻と日付を設定します。「Time & date (時刻 & 日付) 27 ページ」を参照してください。
	動作の開始時刻と終了時刻が正しくありません。	スケジュール設定を変更してください。「スケジュール 26 ページ」を参照してください。
本製品が振動する。	ブレードが損傷しているため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。「ブレードの交換 34 ページ」を参照してください。
	同じ位置のブレードが多すぎるため、カッティングシステムのバランスが取れていません。	ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なる厚さのブレードが製品に取り付けられています。	ブレードの厚さが異なっているかを確認し、必要に応じてブレードを交換します。
製品は動作していますが、ブレードディスクは回転していません。	本製品がチャージステーションに移動しています。	本製品の通常の動作です。本製品がチャージステーションに移動しているとき、ブレードディスクは回転しません。
1 回の充電で持続する本製品の動作時間が通常よりも短い。	草などの異物が原因でブレードディスクが詰まっています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。「本体、シャーシおよびブレードディスクの清掃方法 32 ページ」を参照してください。
	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 35 ページ」を参照してください。
	芝が高くて厚みがある状態です。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
作動時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーの寿命が近づいています。	バッテリーを交換します。「バッテリー 35 ページ」を参照してください。

症状	原因	対応措置
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	[Schedule (スケジュール)] 設定が行われているため、または [Park until further notice (更なる通知まで駐車)] が選択されているため、本製品は駐車しています。	[Schedule (スケジュール)] 設定を変更するか、本製品を始動します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
本製品がモバイルデバイスに接続できません。	本製品が別のモバイルデバイスまたはアプリに接続されています。	接続された他のすべてのデバイスでアプリを無効にしてください。
十分芝刈りされない。	本製品の動作時間が十分でないか、動作頻度が不十分です。	芝刈り時間を増やしてください。「スケジュール 26 ページ」を参照してください。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作動時間を延長してください。「スケジュール 26 ページ」を参照してください。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。「ブレードの交換 34 ページ」を参照してください。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を上げ、芝が短くなったら下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が堆積しています。	堆積した草を取り除き、本製品を清掃します。「製品の清掃 32 ページ」を参照してください。
	パターンまたはパターンの方向が、作業エリアに対して不十分です。	別のパターンの方向または別のパターンを選択します。
斜面で芝が摩耗している。	勾配が急すぎます。	進入制限ゾーンを設置して斜面を隔離してください。
	パターンまたはパターンの方向が、斜面に対して不十分です。	別のパターンの方向または別のパターンを選択します。規則的なパターンの場合、Husqvarna では、規則的なパターンの方向を勾配方向と平行にするのではなく、斜面を直登することを推奨しています。

8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- ・ 該当するすべての国内規制に従ってください。
- ・ 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

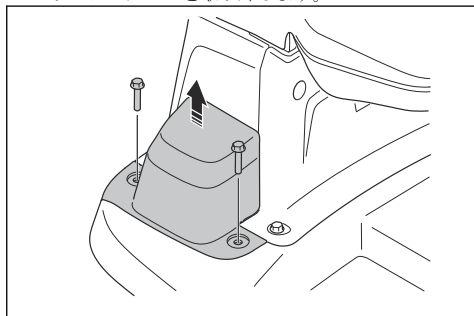
8.2 本製品の保管方法

- ・ 製品を完全に充電します。「バッテリーの充電 30 ページ」を参照してください。
- ・ 本製品をオフにします。「本製品をオフにする 30 ページ」を参照してください。
- ・ 製品を清掃します。「製品の清掃 32 ページ」を参照してください。
- ・ 本製品は、乾燥した霜の降らない場所に保管してください。
- ・ 本製品のすべてのホイールを水平な場所に置きます。

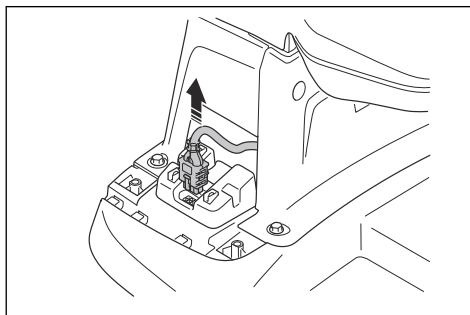
8.3 チャージステーションを保管する

チャージステーションの上部を取り外して保管できます。チャージステーションのベースプレートを保管する必要はありません。

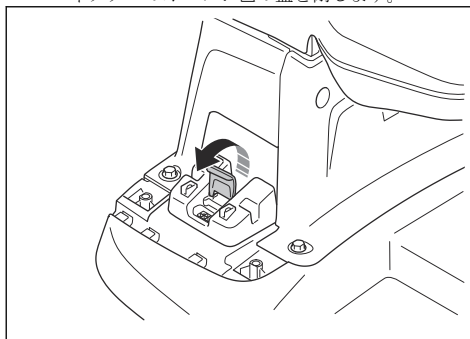
1. ケーブルカバーを固定している 2 本のネジを外し、ケーブルカバーを取り外します。



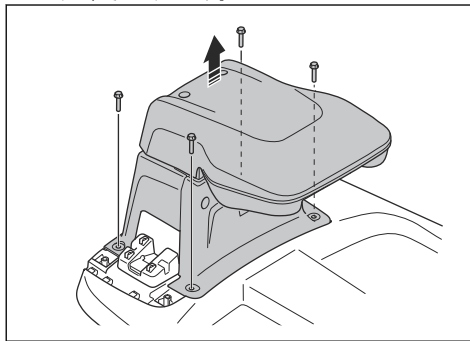
2. ケーブルを外します。



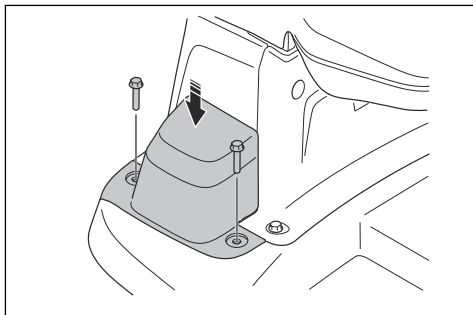
3. コネクターのオレンジ色の蓋を閉じます。



4. チャージステーションの上部にある 4 本のネジを外し、取り外します。



5. 凍結しない乾燥した場所に、電源装置とチャージステーションの上部を保管します。
6. 2 本のネジでケーブルカバーを取り付けます。



8.4 廃棄

このマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示します。お住まいの地域の電気および電子機器回収システムでリサイクルしてください。リサイクルをすることで、廃棄物の適切な管理が可能になります。詳細については、各地域の自治体、一般廃棄物処理サービス、販売店または小売店にお問い合わせください。有害物質が存在する可能性があるため、適切に廃棄しないと、環境や人体に悪影響を及ぼすおそれがあります。



注記： マークは、本製品または製品の梱包材に表示されています。

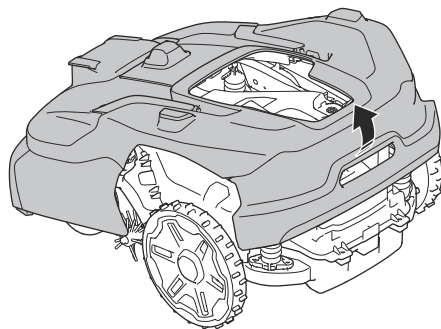
8.4.1 バッテリーの取り外し方法



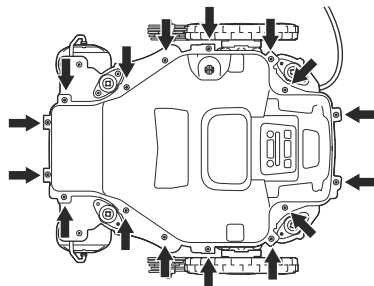
注意： バッテリーは、製品を廃棄するときのみ取り外してください。保証シールを外すと、Husqvarna の保証は適用されなくなります。

1. 本製品をオフにします。
2. シャーシを片手で持ちます。本製品の前方向かってすばやく短く引き上げて製品本体を取り外し

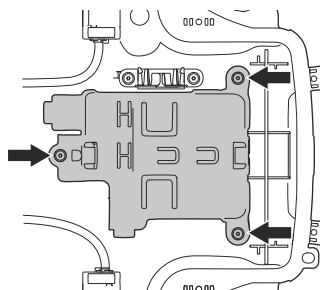
ます。



3. シャーシの 16 本のネジをトルクス 20 で外します。



4. シャーシの上部を持ち上げます。
5. バッテリーブラケットのケーブルホルダーからすべてのケーブルを取り外します。
6. 3 本のバッテリーホルダーのネジを外して、バッテリーホルダーを取り外します。



7. バッテリーの 2 本のケーブルを外します。

9 主要諸元

9.1 主要諸元

寸法	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
長さ (cm/インチ)	78/30.7	78/30.7	78/30.7	78/30.7
幅 (cm/インチ)	59/23.2	59/23.2	59/23.2	59/23.2
高さ (cm/インチ)	31/12.2	31/12.2	31/12.2	31/12.2
質量、kg/ポンド	16.7/37	17.3/38	17.6/39	18.4/41

電気系統	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
バッテリー、リチウム イオン 36 V、4.0 Ah、 品番	546 42 61-01、546 42 61-03	該当なし	該当なし	該当なし
バッテリー、リチウム イオン 36V、8.0 Ah、 品番	該当なし	546 56 03-01、546 56 03-02	546 56 03-01、546 56 03-02	546 56 03-01、546 56 03-02
電源 (42V DC)、V AC	100/240	100/240	100/240	100/240
チャージステーション 用低電圧ケーブル、長 さ m/フィート	2/6.6	2/6.6	2/6.6	2/6.6
最大使用時での平均エ ネルギー消費量、kWh /月	55	57	70	70
充電電流、A DC	7	7	7	7
チャージステーション の電源装置のタイプ ⁵	AP-290XXX	AP-290XXX	AP-290XXX	AP-290XXX
平均芝刈り時間、分	85	150	120	120
平均充電時間、分	55	55	55	55

⁵ XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。「XX」は JP な
どの国バージョンを示し、「Y」は V などの製品リビジョンを示します。

音響データ ⁶	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
知覚騒音レベル、dB (A)	64	64	68	69 (ホイールブラシを取り付けない状態) 73 (ホイールブラシを取り付けた状態)
計測音響騒音レベル、dB (A)	64	64	67	67 (ホイールブラシを取り付けない状態) 72 (ホイールブラシを取り付けた状態)
騒音排出の不確定性 K _{WA} (dB (A))	1	1	2	2
使用者の耳における音圧騒音レベル、dB (A) ⁷	56	56	59	59 (ホイールブラシを取り付けない状態) 64 (ホイールブラシを取り付けた状態)

芝刈り	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード (5枚)	ピボット付きカッティングブレード (5枚)	ピボット付きカッティングブレード (5枚)	ピボット付きカッティングブレード (5枚)
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2600	2600	2800	2800
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	62	62	87	87
刈高、cm/インチ	20~60/0.8~2.4	20~60/0.8~2.4	20~60/0.8~2.4	10~50/0.4~2.0
刈幅、cm/インチ	26/10.2	26/10.2	26/10.2	26/10.2
最狭の通過可能経路、m/フィート	0.8/2.6	0.8/2.6	0.8/2.6	0.8/2.6
作業エリアの最大角度、°	50	50	45	45
仮想境界の最大勾配、°	20	20	20	20
対応エリア - スポーツ 24 (規則的パターン)、m ² /エーカー	4000/1	6000/1.5	8000/2	8000/2
対応エリア - 標準 48 (規則的パターン)、m ² /エーカー	8000/2	12000/3	16000/4	16000/4

⁶ 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。

⁷ 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2~4 dB (A)。

芝刈り	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
1 時間あたりの面積、 充電なし、m ² /フィー ト ²	300/3200	400/4300	500/5400	500/5400

IP コード	Automower® 540 EPOS®	Automower® 560 EPOS®	Automower® 580 EPOS®	Automower® 580L EPOS®
ロボット芝刈機	IPX5	IPX5	IPX5	IPX5
チャージステーション	IPX4	IPX4	IPX4	IPX4
チャージステーション の電源	IP44	IP44	IP44	IP44

チャージステーションのワイヤーアンテナ	
動作周波数帯、Hz	100～80000
最大磁界、dBuA/m	82
最大無線周波電力 ⁸ 、mW @60m	<25 mW @60 m

Bluetooth®	
動作周波数帯、MHz	2400.0～2483.5
Bluetooth® 出力電力	8 dBm

携帯電話通信接続、2G	
動作周波数帯、MHz	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
出力電力、dBm	出力クラス 4 (GSM/E-GSM) 33 dBm
	出力クラス 1 (DCS/PCS) 30 dBm
	出力クラス E2 (GSM/E-GSM) 27 dBm
	出力クラス E2 (DCS/PCS) 26 dBm

携帯電話通信接続、4G ⁹	
動作周波数帯	周波数帯 1 (2100 MHz)、周波数帯 2 (1900 MHz) 周波数帯 3 (1800 MHz)、周波数帯 4 (1700 MHz)、周波数帯 5 (850 MHz)、周波数帯 8 (900 MHz)、周波数帯 12 (700 MHz)、周波数帯 13 (700 MHz)、周波数帯 18 (850 MHz)、周波数帯 19 (850 MHz)、周波数帯 20 (800 MHz)、周波数帯 25 (1900 MHz)、周波数帯 26 (850 MHz)、周波数帯 27 (850MHz)、周波数帯 28 (700 MHz)、周波数帯 66 (1700 MHz)、周波数帯 71 (600 MHz)、周波数帯 85 (700 MHz)
出力電力、dBm	出力クラス 3 23 dBm

⁸ 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。

⁹ 一部の国では、地域によって使用されている携帯電波システムが異なるため、携帯電話による接続がサポートされません。付帯サービスは、作業エリアにサードパーティの 2G/4G のサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

SRD レーダー	ヨーロッパ、アジア、南米	北米
動作周波数帯、GHz	60～64	57～61.56
出力電力、dBm	2.4	2.4

SRD 868		
動作周波数帯、MHz	863～870	
出力電力、dBm	13	

SRD 915		
動作周波数帯、MHz	北米 902～928	
	オーストラリア：915～928	
	ニュージーランド：915～928	
出力電力 ¹⁰ 、dBm	13	

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

リモコン、無線送信機、ヒアリンググループ、地中の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性は完全には保証されません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。製品の概要 9 ページを参照してください。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

¹⁰ 測定値（等価等方放射電力：EIRP）。

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件

Bluetooth® モジュールおよび携帯電話通信モジュールは、本製品に内蔵されています。これらには、認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。



R

201-220052



T

003-200108



AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2026 HUSQVARNA。無断複写・転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1144953-79



2026-01-30